

作業項目一覧表 (目次)

序 文

作業番号の最初につく文字Gは、GS車すべてに共通する作業を示す。

GE又はGFはGSエステートの5ドア又は3ドアを示す。

Geaはトルクコンバーター装着車を示す。

作業 No	内 容	
	<u>諸 元</u>	
	参考資料、諸元表 (その1) 写し	➡ ①
	GSA 1980 年モデル	
G..000	一般諸元	
G. 00	ジャッキ使用位置	
G. 00-661	ルーフラックの取付け	
G. 00-800	車体寸法	
G. 00-854	エンブレムの取付け	
G. 01	電装品の保護	
G. 02	ハイドロリックシステムの作業上の注意	
G. 03	推薦材料	
	<u>エンジン・キャブレター・排出ガス浄化装置・点火装置</u>	➡ ②
G. 100-00	テクニカルデーター及びエンジン諸元	
G. 112-0	ロッカーアームの点検と調整	
G. 120-0	バルブタイミングの点検と調整	
G. 142-00	キャブレターの諸元 (G. 10 エンジン- 1015 cc)	
G. 142-00a	キャブレターの諸元 (G. 12/ 612 と 611 エンジン- 1220 cc)	
G. 142-00Jp	排出ガス浄化装置 (日本仕様) の諸元	
G. 142-0Jp	排出ガス浄化装置 (日本仕様) の点検と調整	
G. 142-0	キャブレターの点検とセッティング (G10 エンジン- 1015 cc)	
G. 142-0a	キャブレターの点検とセッティング (G12 エンジン- 1220 cc)	
G. 172-0	吸入空気予熱装置の点検	
G. 173-0	燃料装置の諸元と点検 (ポンプとフィルター)	
G. 210-00	点火装置の諸元 (G10 エンジン- 1015 cc)	
G. 210-00a	点火装置の諸元 (G12 エンジン- 1220 cc)	
G. 210-0	点火装置の点検と調整	
G. 220-0	エンジン油圧の点検と調整	
	<u>クラッチ</u>	➡ ③
G. 312-00	クラッチの諸元	
G. 314-0	クラッチコントロールの点検と調整	
Gea. 320-00	トルクコンバーターの諸元	
Gea. 320-0	トルクコンバーターとそのコントロールの点検と調整	
	—エレクトロバルブコントロールスイッチの点検と調整	
	—トルクコンバーターの油圧点検	
	<u>ギヤボックス</u>	➡ ④
G. 330-00	4速ギヤボックスの諸元 (メカニカル クラッチ)	
Geo. 330-00	3速ギヤボックスの諸元 (トルクコンバーター)	
	—ギヤボックスとコンバーターのオイル交換	
	<u>ドライブシャフト</u>	➡ ⑤
G. 372-00	ドライブシャフトの諸元	
	<u>ハイドロリックシステム</u>	➡ ⑥
G. 390-00	ハイドロリックシステムの諸元と回路	
G. 390-0	ハイドロリックシステムの点検 (車上で)	

作業 No	内 容			
	<u>フロント アクスル</u>			
G. 410-00	フロントアクスルの諸元	➡	7	
G. 410-0	フロントアクスルの点検と調整 (器具使用)			
G. 410-0a	フロントアクスルの点検と調整 (測定器使用)			
	<u>リヤ アクスル</u>			
G. 420-00	リヤアクスルの諸元	➡	8	
G. 420-0	リヤアクスルの点検と調整			
	<u>サスペンション</u>			
G. 430-00	サスペンションの諸元	➡	9	
G. 430-0	サスペンションの点検と調整			
	ー車高のプレセッティング			
	ー車高の調整			
	ー手動車高コントロールの点検と調整			
	ーサスペンションプッシュロッドボールの潤滑			
G. 434-0	アンチロールバーの遊び調整			
	<u>ステアリング</u>			
G. 440-00	ステアリングの諸元	➡	10	
G. 440-0	ステアリングの点検と調整 (G 410-0 参照)			
	<u>ブレーキ</u>			
G. 450-00	ブレーキ装置の諸元	➡	11	7
G. 451-00	ブレーキ装置の各部品の点検			
G. 453-0	メインブレーキコントロール装置の点検と調整			
	ーフロントブレーキのエア抜き			8
	ーリヤブレーキのエア抜き			
	ーブレーキペダルの遊び調整			
	ーストップランプスイッチの調整			
G. 454-0	ハンドブレーキの点検と調整			9
	<u>電気装置</u>			
G. 510-00	電気装置の配置	➡	12	
G. 510-00JPa	電気装置の配置 (日本仕様 1973/9→ 1977/9)			
G. 510-00JPb	電気装置の配置 (日本仕様 1977/9→)			10
G. 510-00JPC	電気装置の配置 (日本仕様 1980/3→)			
G. 510-00b	電気装置の配置 (左ハンドル車 1974/9→)			
G. 510-11a	電気装置の配置 (右ハンドル車 1973/9→)			
G. 530-0	電気装置の諸元と点検			11
	オルタネーター, ボルテージレギュレーター, スターターモーター			
G. 540-0	ヘッドランプの調整			
G. 560-0	ウインドワイパーの調整			
G. 961-0	リヤウインドデミスター熱線の点検と修理			12
	<u>ボデー</u>			
G. 840-0	ボデーの調整	➡	13	
G. 841-0	ドア調整			
G. 844-0	トランクリッドの調整			13
G. 852-0	ボンネットの調整…… (ボンネットリリースケーブルが外れた時の開け方)			
—	<u>工具一覧表と製作図</u>	➡	14	
—	技術資料			14

(51年規制 B-GXYB)

諸 元 表

(写)

(その1)

自 車 第 号
55 自 車 第 1 4 6 号
新型自動車外第 50187 号
001 (4扉ハッチバック) 002 (サンルーフ付)

指 定 番 号	類 別 区 分 番 号	届 出 年 月 日	変 更 届 出 年 月 日	自 動 車 の 種 別	用 途	車 体 の 形 状
車 体 及 び 型 式	シトロエン・B-GXYB	昭和55年3月6日	昭和 年 月 日	小 型	乗 用	箱 形
車 台 の 名 称 及 び 型 式	シトロエン・GXYB					
車 体 の 名 称 及 び 型 式						
製 作 者 の 氏 名 又 は 称	西武自動車販売株式会社					
長 さ m	4.195					
幅 m	1.625					
高 さ m	1.350					
軸 距 m	2.550					
前 輪 距 m	1.380					
後 輪 距 m	1.330					
室 内 又 は 荷 台 の 内 側 寸 法 m	長 さ 1.740 幅 1.360 高 さ 1.130 1.140					
荷 台 オ フ セ ッ ト m						
原 動 機 の 型 式	G12					
総 排 気 量 又 は 定 格 出 力 ℓ 又 は kw	1.221					
燃 料 の 種 類	ガソリン					
		乗 車 定 員 人	5			
		最 大 積 載 量 kg				
		車 両 重 量 kg				
		前前軸重	600	605		
		前後軸重				
		後前軸重				
		後後軸重	370	375		
		計	970	980		
		車 両 重 量 kg				
		前前軸重	700	705		
		前後軸重				
		後前軸重				
		後後軸重	545	550		
		計	1245	1255		
		最 大 安 定 傾 斜 角 度	左 52° (計算値)	右 53° (計算値)		
		車 輪 配 列	前 2 駆 動 ・ 後 2			
		タ イ ヤ	前 輪 145 SR 15	後 輪 145 SR 15		

(1) 車台番号及び原動機型式の打刻様式・打刻位置及び打刻方法

	打 刻 様 式	打 刻 位 置	打 刻 方 法
車 台	ⒺGX-YB-00YB0001Ⓔ	右前輪タイヤハウス防火壁上面	黒皮のまま
原 動 機	G 12	エンジンブロック右後方上面	黒皮のまま

(2) 通称名 シトロエン GSA

(3) 旅客運送事業用自動車としての適否.....適 ・ (否) (頭部後傾抑止装置等)

(4) 改善措置事項

1. 操作装置中の始動装置、デフロスタの操作装置の識別表示を行なう。
2. 前面に備えるエア・スポイラーを取り外す。
3. 後席の側面に隣接する座席に座席ベルトを備える。
4. 排気温度異常上昇警報装置の警報発生に対応してとる緊急措置方法を明記したコーションラベルを貼付する。
5. 前照灯を左側通行用のものとする。
6. 後面に備えるコンビネーション・ランプは消灯している他の灯火に対して誤認を与えるような光が漏れないものとする。
7. 非常信号用具を備える。
8. 速度警報装置を備える。
9. 自動車登録番号標の取付枠は容易に取り外せない構造とする。

(5) タイヤ荷重値及び空気圧、荷重値 405 kg ・ 空気圧 2.1 kg / cm²

II. エンジン：（GSCと同一）

1. エンジン形式：G12

シリンダー数	水平対向 4 シリンダー縦置
内径 × 行程	77.0 × 65.6 mm
圧縮比	7.5
圧縮圧力	8.5 kg/cm ² - 280 rpm
燃 料	無鉛ガソリン
最高出力	54 HP / 5500 rpm (DIN)
最大トルク	8.5 kg-m / 3250 rpm (DIN)

主な排出ガス浄化装置

二次空気噴射装置

酸化触媒コンバーター（キャタライザー）

排気ガス再循環装置（E. G. R.）

2. 構 造：

- 軽合金製 2 分割式 クランクケース
- 嵌合式 クランクシャフト, 3 ベアリング
- 軽合金製 ピストン, 鋳鉄製 シリンダー
- 軽合金製 シリンダーヘッド, 半球形 燃焼室

3. 弁開閉時期（バルブクリアランス 1 mm）

吸入	開	2° BTDC
	閉	34° ABDC
排気	開	34° BBDC
	閉	2° ATDC

- オーバーヘッドカムシャフト, ツースドベルト駆動

- バルブクリアランス（冷間時）

吸入排気共 0.20 ~ 0.25 mm

4. 潤 滑：

- EATON 型ポンプ（トロコイドギア）による強制潤滑

- オイルラジエーターによる空気冷却

日本タイプ：右前タイヤハウス上のオイルラジエーター, 走行風及びファンによる冷却

- オイルフィルターカートリッジ（バイパスバルブ内蔵）

- エンジンオイル オールシーズン：TOTAL GTS 15W40

-10℃以下 : TOTAL Altigrade 10W30

日本地方 : 20W50, 寒冷地 10W40

- 油 圧 80℃±5℃で：2000 rpm 時 4.7 kg/cm² 以上

6000 rpm 時 6.2 ~ 7.0 kg/cm²

- 油圧警告灯 0.5 ~ 0.8 kg/cm² 以下で点灯

- 油温警告灯 130° ± 1.5 °C 以上で点灯

- ファンコントロールスイッチ ON 97 °C OFF 92 °C (± 1.5 °C) (P/N 5463397)

5. フライホイール:

上死点検知用ノッチ付 (モニタープラグ用)

6. クーリング

- ー クランクシャフト先端に直接取付けられたプラスチック製9枚ファンによる空冷式
- ー 外気温が10℃以下の場合、フロントグリルにカバーを取付けて空気流量を少なくする。

7. フュエルシステム

- ー 鋼板製燃料タンク 容量 43ℓ
 - ー 燃料残量スイッチ付きフュエルゲージ
 - ー 電磁式フュエルポンプ, エンジン回転検出型アンブ式フュエルポンプリレー
 - ー フュエルプレッシャーレギュレーター 0.28 kg/cm², リターン回路付き
 - ー 燃料: 無鉛ガソリン
 - ー キャブレター: WEBER 30 DGS
- 手動チョーク, 戻し時期表示ランプ付き

点灯装置

ー デストリビューター: ノッチ式, 左側カムシャフトにて駆動

- ※ イニシャル タイミング 10° BTDC (バキウムホースを外して)
- カムアングル 57° ± 2° (ポイント間隙 0.40 ± 0.05mm)
- 遠心進角 26° / 4000 rpm
- 真空進角 エンジンオイル温度が45℃以下の時のみ作動

ー スパークプラグ

日本ではNGK BP6EY 又は BP6ES

プラグ間隙 0.6 ~ 0.7 mm

ー 点検用プラグにより上記の点検調整が迅速に行なえる。

- ・ 無負荷時のバッテリー電圧
- ・ 始動時のバッテリー電圧
- ・ レギュレーター電圧
- ・ レギュレーターの電圧降下
- ・ カムアングル
- ・ 進角度
- ・ エンジンスピード
- ・ 点火時期
- ・ 高圧電圧

※ オフィシャルは 6° BTDC

Ⅲ. クラッチ

機械式	ダイヤフラムタイプ	180 DBR285
	クラッチディスク	363988
	フェーシング	FERODO A755
	ペダルの遊び	15～20 mm

註：クラッチハウジングに上死点検出器が取付けてある。

Ⅳ. ギヤボックス

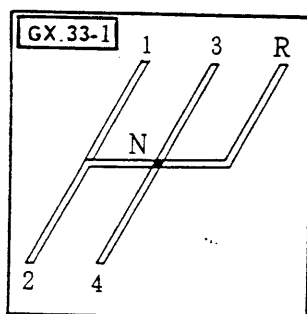
1. 構造：軽合金製シェル型2分割式ケース、リヤカバー及びクラッチハウジング付き、GS旧型との変更点：

－ギヤボックス側のコントロールレバーの支点の位置が20mm高くなった。

（シフトストロークの減少）

－特殊加工ベアリング

－3速4速ギヤにはスプリングによるフリクションパッド付き、4速ギヤボックス：シリーズNo.465

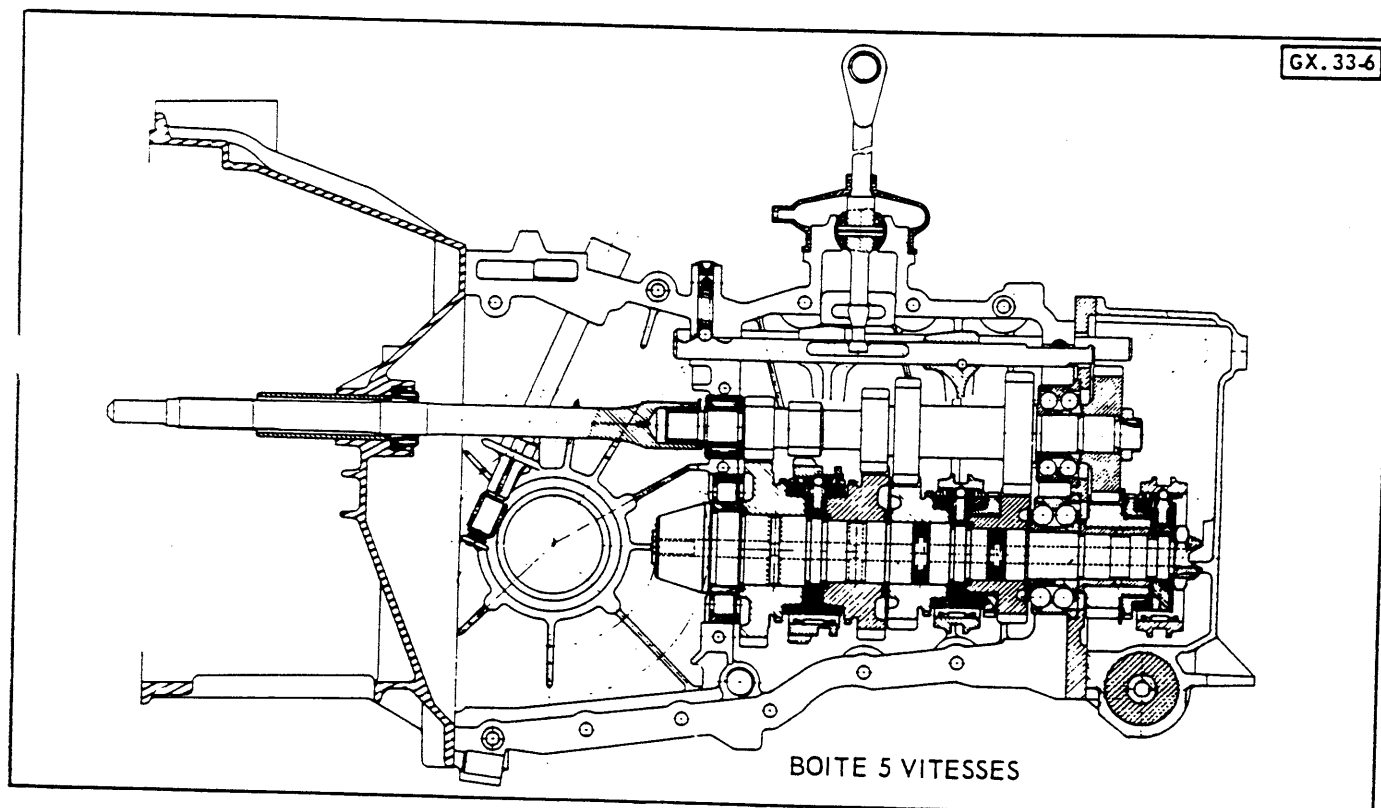


シフト	ギヤボックスの ギヤ比 減速比		デファレンシャル	総減速比	エンジン1000 rpm 時の速度km/h
1	11/42	3.818	8 × 33	0.0635	7.200
2	17/39	2.294		0.1056	11.983
3	26/39	1.500		0.1616	18.327
4	32/33	1.031		0.2350	26.658
後退	11/46	4.182		0.0579	6.574

ギヤボックスのベアリング

- メインシャフト 前部：ニードルローラーベアリング
 後部：アンギュラコンタクトベアリング { SNR réf. 10 866 (20 × 52 × 19.5)
 SKF réf. 444079 A
 カウンターシャフト 前部：ローラーベアリング, SKF réf. 440873 (40 × 80 × 18)
 後部：アンギュラコンタクトベアリング réf. 26 204819 (25 × 62 × 25.4)

5速ギヤボックス断面図



V. ドライブシャフト

- ーホイール側：二重ボール型等速ジョイント
- ーギヤボックス側：三叉型ジョイント
- ー径：27mm（ダンパーを除く）
- ー潤滑用グリス：TOTAL MULTIS MS
- ーシャフトとシーリングケース間のボールジョイント側に通気リング付き

XI. ブレーキ

ーメインブレーキ：

ー全四輪ディスクブレーキ

ーハイドロリック油圧によるパワー作動

ーフロントブレーキにはメインアキウムレーターからの油圧使用、セキュリティバルブにより優先保護

ーリヤブレーキにはリヤサスペンションからの油圧使用

ーパーキングブレーキ：

ーフロントブレーキに付属して独立したシステム

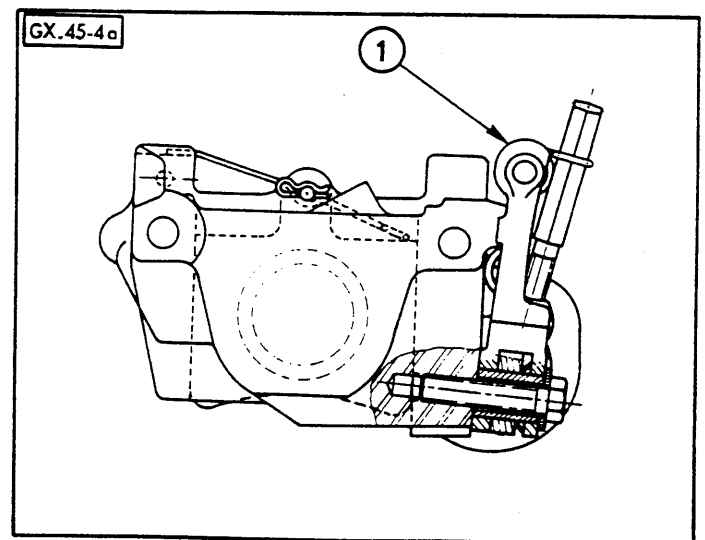
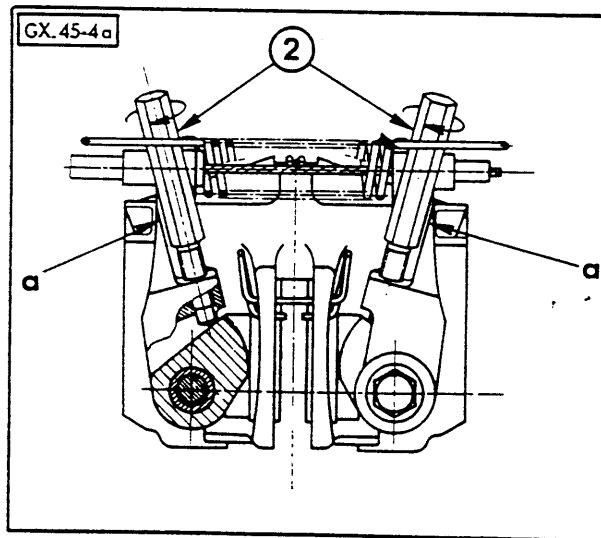
ーフロントブレーキディスクをケーブルにより2個のパッドで制動

諸 元

	前 輪		後 輪		パーキングブレーキ	
ブレーキディスク直径.....	270 mm		178 mm			
ピストン直径.....	45 mm		30 mm			
ブレーキディスク厚さ.....	9 mm		7 mm			
ブレーキディスク使用限度.....	6 mm		4 mm			
作動面積.....	146 cm ²		71 cm ²		44 cm ²	
ライニングの種類	FERODO	TEXTAR	FERODO	TEXTAR	FERODO	TEXTAR
	672	14-31	672	14-31	677	T 270

ーリヤブレーキに防音シム取付（プレート後部のスプリングで固定）

パーキングブレーキの調整：



ーパーキングブレーキレバーを完全に戻し、作動レバー(1)がキャリパ上のa点に当たっていることを確認する。当たっていない場合はケーブル調整用のナットをゆるめる。

ーブレーキディスクを回しながら、最も重くなる位置でパッドがわずかにディスクに接触するように調整スクリュー(2)で調整する。

ーケーブル調整用ナットが作動レバー(1)に当り、且つ左右のネジ部の長さが同一になるように調整した上でロックする。

ーパーキングブレーキレバーを引いて2番目又は3番目のノッチでブレーキが効くことを確認する。

VII. リヤアクスル

- トレーリングアーム、独立懸架

- トーイン 0 ~ 5 mm

- キャンバー $0^\circ \pm 40^\circ$

IX. サスペンション

車高一定式ハイドロニューマチックサスペンション

フロントアップーアーム及びリヤアームはサスペンションシリンダーにより支持されている。

(ゴム製ストッパー付き)

1. サスペンション球

		* インフレーション圧力	マークの色
フ ロ ン ト 球	一般タイプ	$55^{+5}_{-10} \text{ kg/cm}^2$	緑
	寒冷地方及びG. E. タイプ		緑 / 茶 / 緑
リ ャ 球	一般タイプ	$35^{+5}_{-10} \text{ kg/cm}^2$	青 / 青 / 白
	寒冷地方及びG. E. タイプ		青 / 茶 / 白

註：G. E. 大量輸出国向け

* インフレーション圧力は頭部スクリューに刻まれている。

2. サスペンション シリンダー

ピストン径 35 mm

3. ダンパー：サスペンション球内部に装置 (ショック アブソーバと同じ作用)

4. アンチロールバー

フロントバーの径 21.5 mm

リヤバーの径 17 mm

5. 手動車高コントロール：

ノーマル走行位置，中間位置，高位置の3ポジション

6. 車高：エンジン回転中，ノーマル走行位置で，

- フロント：189 ± 10 mm

地面からアンチロールバー中央下面までの高さ

- リ ャ：272 ± 10 mm

地面からリヤサブフレームの後側フランジエッジまでの高さ

X. ステアリング：

ラックピニオン式ステアリング，ユニバーサルジョイント2個付きステアリングシャフト

ステアリング比 1 / 19

ステアリングホイール径 380 mm

VI. ハイドロリック機構

サーキット内容量：LHM 4.2 ℓ, オイルレベル警報スイッチ付きリザーブタンク

HP ポンプ：エンジンオイルポンプ軸により駆動される単シリンダーポンプ

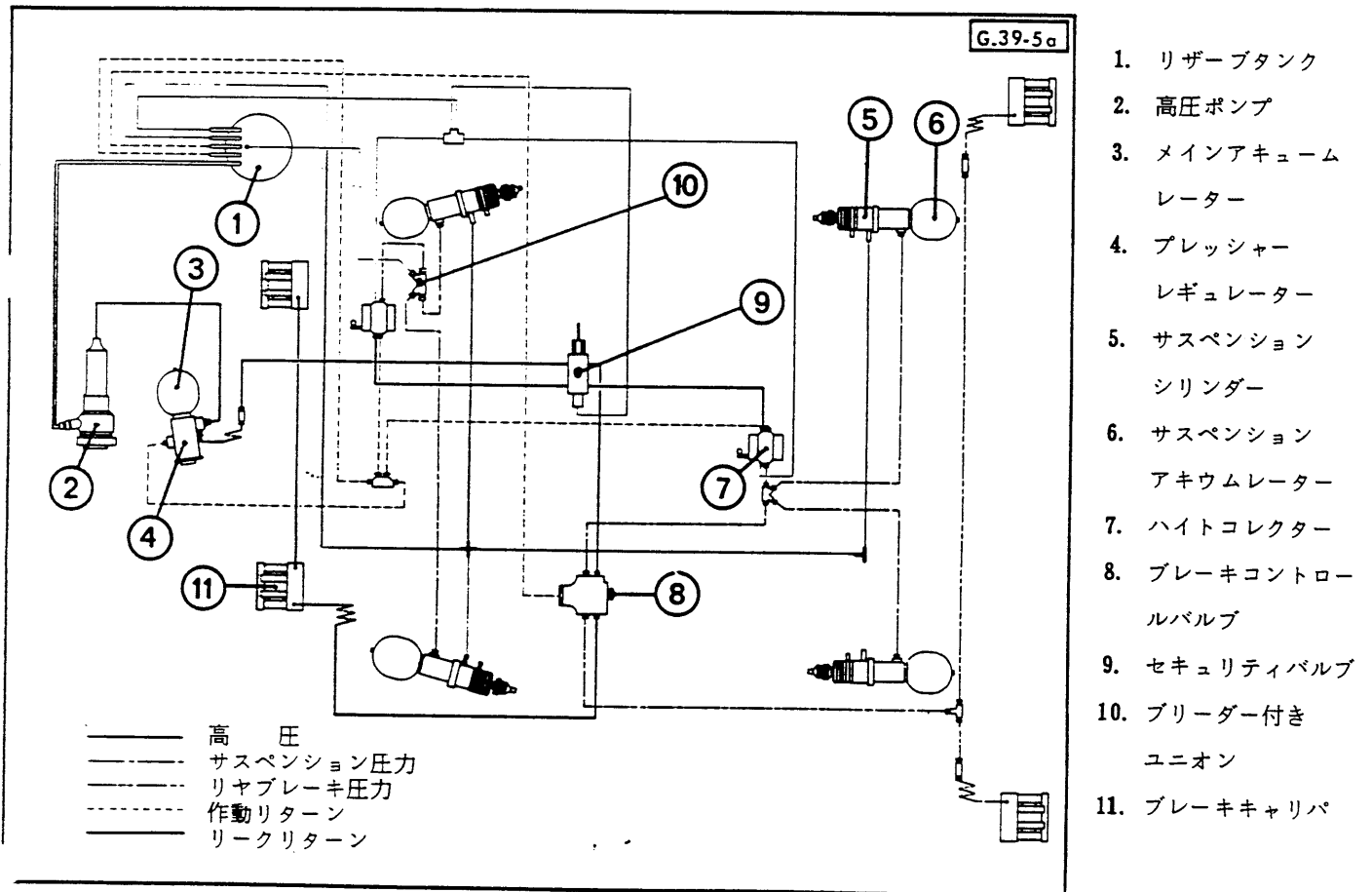
プレッシャーレギュレーター：カットイン圧力 $145 \pm 5 \text{ kg/cm}^2$

カットアウト圧力 $170 \pm 5 \text{ kg/cm}^2$

メインアキュムレーター：容量 0.4 ℓ, インフレーション圧力 $62^{+2}_{-32} \text{ kg/cm}^2$

セキュリティバルブ作動圧力：70~90 kg/cm^2

ハイドロリック回路図



VII. フロントアクスル

ートランスバーサススペンションアーム式独立懸架方式

平行四辺形を構成して、車の縦方向軸重移動防止のための設計になっている。

アップパーアームはテーパーローラーベアリング、ロウアーアームはフルイドブロックの軸受使用

ー諸元

キャスター（調整不能）..... $1^{\circ}15' + 1^{\circ}15'$
 $- 1^{\circ}15'$

キャンバー（調整不能）..... $0^{\circ} \pm 1^{\circ}$

トーイン $0 \sim 2 \text{ mm}$

ーフロントアクスルの変更点：

ーフロントロウアーアーム取付位置が 7.5 mm 下った。

ーパワーユニット後部固定用タブにより各種ギヤボックスの取付けが可能

XII. タイヤ :

— 145 SR 15XZX (全車種)

— 空気圧	フロント		1.8 kg / cm ²
	リヤ		1.9 kg / cm ²
	スペア		2.1 kg / cm ²

XIII. 電気装置

1. 充電系統

— バッテリー : 12V - 225 / 45 Ah (X 3) 日本仕様

— オルタネーター : 40A - 490 W エレクトロニック式レギュレーター内蔵

日本タイプ 45A

DUCELLIER réf 514009 A

ボルテージレギュレーター単体

日本タイプ

DUCELLIER A G9

(14V 4 A)

— 計器板のウォーニングランプは、レギュレーター内部のエレクトロニックシステムにより下記の状況を示す。

(オーバーロード, アンダーロード, 無回転)

— 電圧が約 12.8 V 以下で点灯する。

— 電圧が約 12.8 V ~ 15V の間は点灯しない。

— 電圧が約 15V 以上になると点灯する。

2. スターターモーター : 950 W (1.3 CV).

DUCELLIER : réf 532016 A

PARIS- RHONE : réf D 8 E 155

3. ヘッドランプ :

変形角形 2 灯式. 改善措置によりスタンレー製 45 / 40 w 球使用

4. リヤコンビネーションランプ : 下記の機能を持つ

— 制動灯

— 後退灯

— 方向指示灯

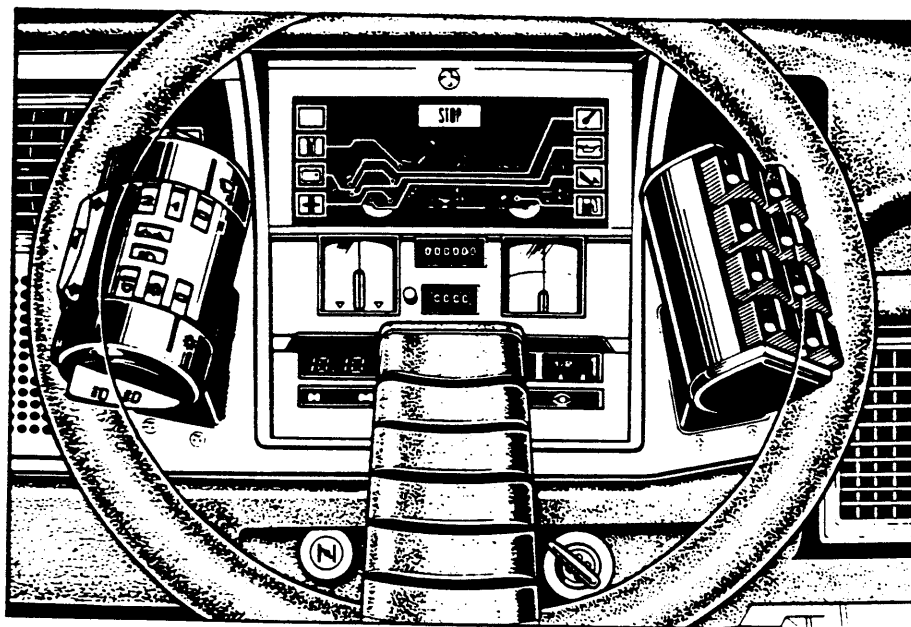
— 尾灯

— 後部反射器

ランプの脱着はトランクルーム内のカバーを外し、ランプ上下のフックスプリングを圧縮して押し出す。

5. トランクルームランプ : 水銀スイッチによる自動点滅式

6. 計器板



計器板は主として下記の3ユニットにより構成される。

a) 計器ユニット：(中央)

- －スピードメーター
- －タコメーター（パラス及びX3）
- －クォーツ時計（クラブ）
- －デジタルクォーツ時計（パラス及びX3）
- －走行距離計（6桁）
- －トリップメーター
- －燃料計

b) 左側スイッチユニット（ウエッジ球 1.2 w）

- －ワイパー，ウォッシャースイッチ
- －方向指示器
- －ホーンボタン
- －ライトスイッチ
- －ディマー及びパッシングスイッチ

c) 右側スイッチユニット（*ウエッジ球 0.36 w）

- －*非常点滅灯スイッチ
- －駐車灯スイッチ
- －リヤウインドワイパーウォッシャースイッチ
- －リヤウインド間欠ワイパースイッチ
- －*リヤデミスタスイッチ
- （－*フロントフォグランプスイッチ）
- （－*リヤフォグランプスイッチ）

註. スイッチボタンは取外し可能，球取替可能

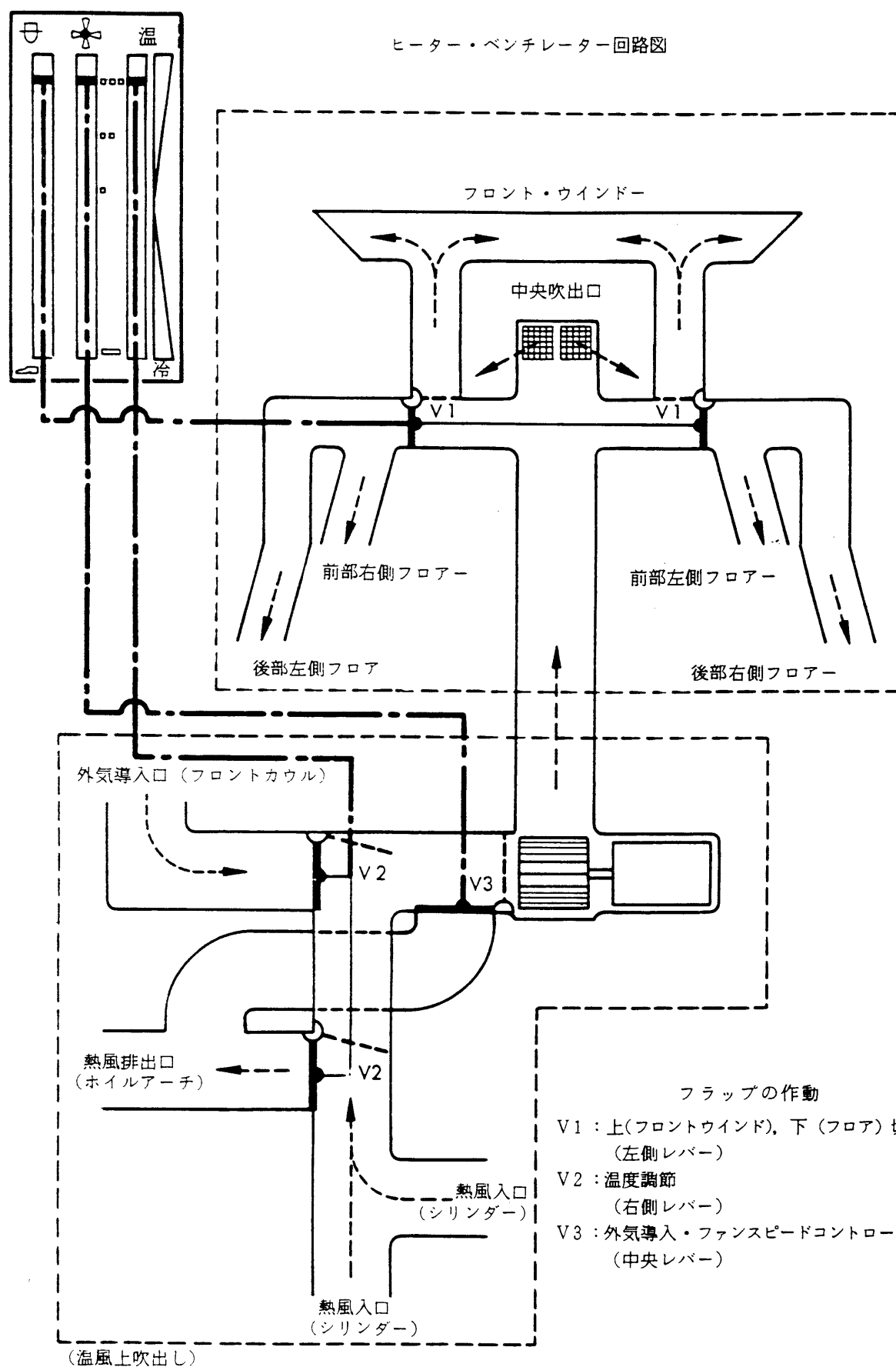
各種装置：

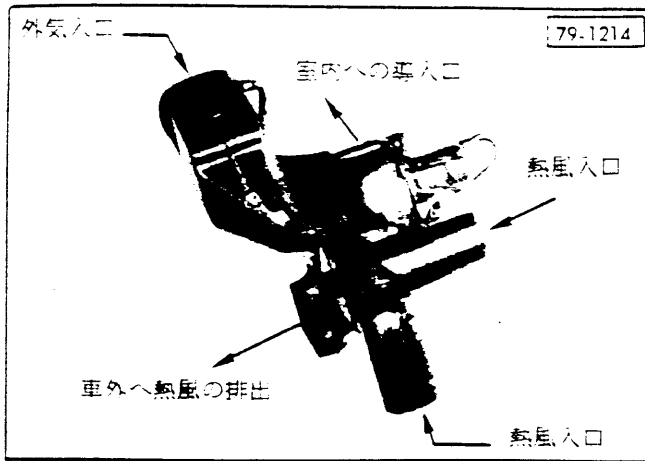
- －フロントウインドワイパー：2速及び間欠
- －リヤウインドワイパーは間欠作動，ウォッシャのポンプはリレーにより作動する。
- －熱線式リヤウインドガラス
- －チョーク戻し警告灯はエンジンスイッチ横
- －助手席足元灯
- －大型ルームランプ（サンルーフ車には左右センターピラーにスポットランプ付き）
- －照明付きエンジンスイッチ，キーは折りたたみ式
- －ダッシュボード左右にスピーカーパネル付き
- －計器板照明レオスタット付き

（註）配線図はG. 510-00JPCを参照して下さい。

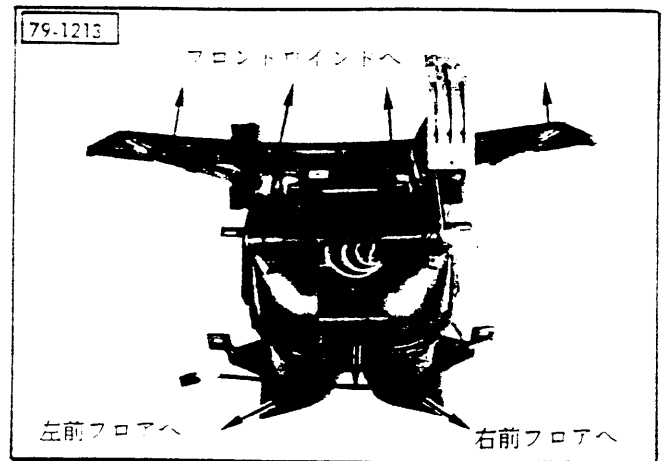
XIV. ヒーター、ベンチレーター装置

ヒーター・ベンチレーター回路図



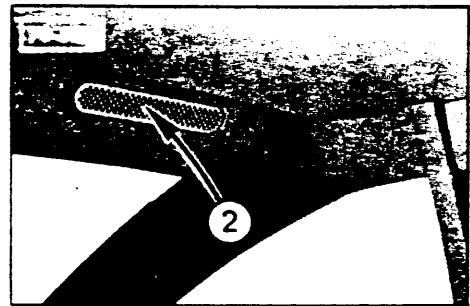
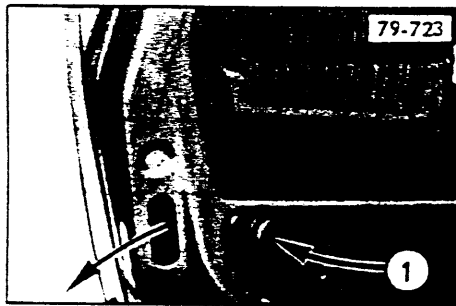


ヒーターユニット

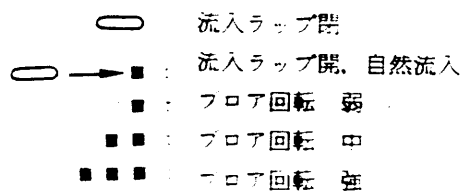


ベンチレーター ディストリビューターボックス

- 1 個のブローモーターで熱風又は冷風を送風する。
- ベンチレーターディストリビューターボックスは上中下に通風を分配する。
- 吹出口：- センターベンチレーター 2 個、足元 4 個、フロントウィンドガラス（デミスター機能）、（冷風又は温風、送風又は走行による流入）
- サイドベンチレーター 2 個、走行による冷風流入のみ
- 換気：室内空気の排出は、リヤドア開口部(1)及びリヤウィンドの上方クロスビームの開口部(2)を通して行われる。



- コントロールレバーはダッシュボード中央にあり、照明内蔵の 3 機能式です。
- 左側：送風の上下切換え
- 右側：温・冷風の切換えによる温度調節
- 中央：風量調節

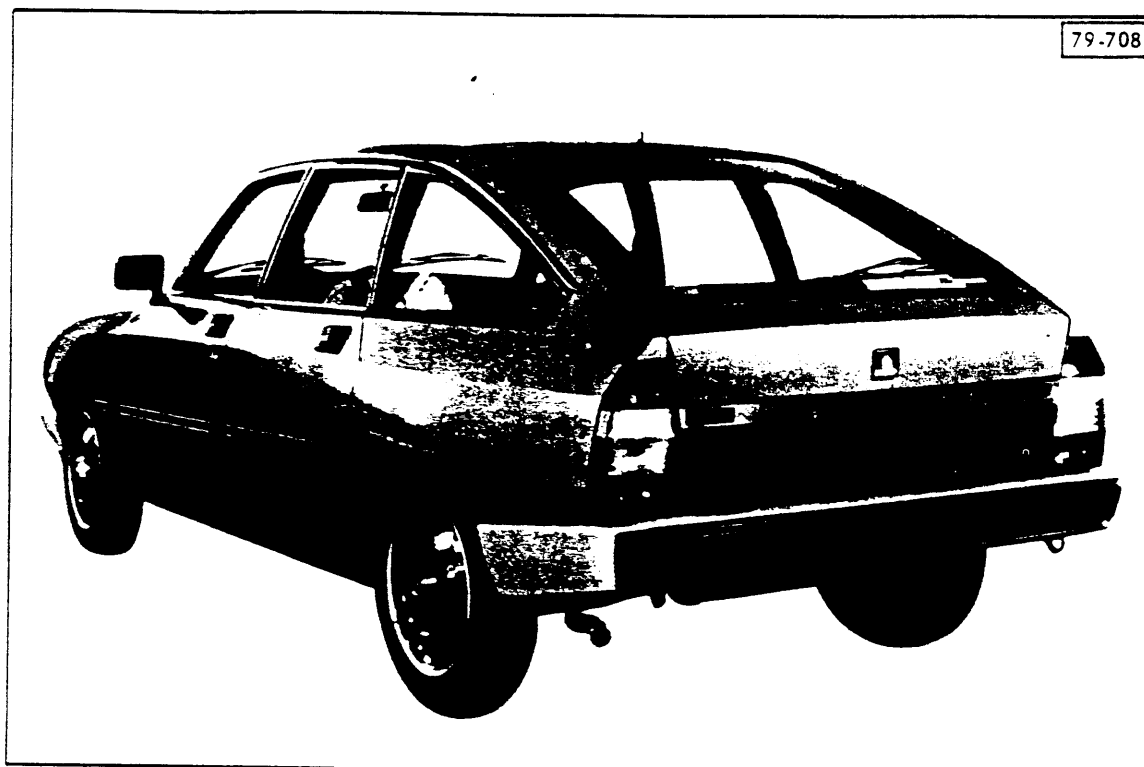


ブローモーターの 2 つの速度は、中央ベンチレーター内の抵抗器の組合せにより得られる。

XV. ボデー

1. GS のボデーより下記の点が改良されている。
 - 溶接ドアヒンジ
 - 全金属製の側面ドアストッパー
 - ドアハンドル外側は黒色、内側ハンドルによりロック可能
 - 前部及び後部フェンダーとホイールロッカー間に熱膨張性セメントの充填により気密性
 - ワイパーホルダーは、ナットがケースに溶接されたため、フロントウィンドカウルより直接脱着可能
 - プラスチック製 2 色、2 原料単体式の前後バンパー、内部に横置きプラスチックパイプにより衝撃吸収

2. セダン



- ー新型後部トランク
- ー下方に広がりリアウインド
- ー改良型ルーフ
- ー全長 60 mm 延長
- ー後部フェンダー 20 mm 延長

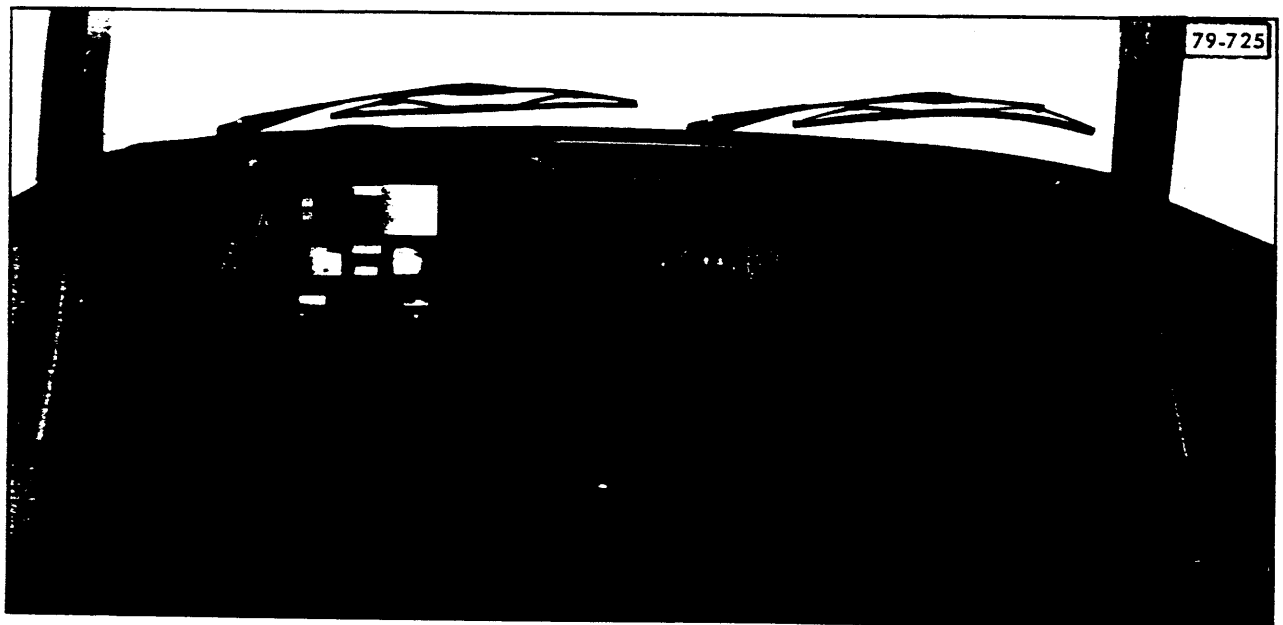
註 フロントナンバープレートの取付けには P N ZC 9866 067 U のリベットを使用

XVI. 内 外 装

1. 外 装

- ー接着式サイドモール
- ードア及びフェンダー下部に黒色テープの接着
- ー側面ガラスのモール：ガラス……………2色ステンレス製
- ーホイールカバー：ガラス……………大型クロームメッキ製
- ードアミラー：ガラス……………手動リモートコントロール式、流線形、鏡面可動式
- ーリヤフード下部にネーム入りのベルト

2. 内 装：3色……………青、緑、茶



ー上下2部分により構成されるダッシュボード

ー上 部：計器板及びヒーターベンチレーター装置が収納されている。

ー下 部：下記のものが含まれる

ーひさし付き計器板枠（黒色）

ー計器板

ーコンビネーションスイッチユニット

ーヒーターベンチレーターコントロール

ーセンター及びサイドベンチレーター吹出口

ーグローブボックス

ースピーカーグリル

ー右足元ランプ

ー灰 皿

ールーフ、センターピラー、内張りライニングは成形品をクランプ止め

ーシートライニング：杉綾模様ジャージ

ー折たたみ式リヤシート：

シートクッション右下側のフックを外して後部を持ち上げ前方へ立てる。

背もたれ両側のレバーを引いてロックを解放し、前方へ倒す。

ーリヤウインド棚：カーテン及びトランクカバー内蔵

ー前ドア下部：小物入れ

ー後ドア下部：灰 皿

ーフロアライニング：熱成形モケット

ー前席ベルト：緊急ロック式巻取装置付き3点ベルト

ー後席ベルト：2点式（改善措置による）

ールームミラーはフロントガラスに貼付け式、防眩付き

G S A車の電気装置

1980年3月以降

フューズ一覧表 (日本仕様車)

電 源	フューズ		保 護 電 源 装 置 名 称
	色	規 格	
1) バッテリー 陽 極 (+) (エンジンスイッチON)	青	20 A	カークーラー
2) バッテリー 陽 極 (+)	黄	10 A	駐 車 灯
3) バッテリー 陽 極 (+)	白	10 A	ストップランプ ルームランプ, トランクリング シガーライター, ラジオ
4) ライトスイッチ	緑	10 A	パーキングランプ テールランプ ライセンスランプ パネル照明
5) バッテリー 陽 極 (+)	赤	16 A	計器照明, 各警告灯, 計器類電源 排ガス浄化装置電源 ホーン フラッシャー 前後ワイパーとウォッシャー オイルラジエーターファン カークーラーリレーコントロール
6) バッテリー 陽 極 (+)	紫	16 A	ボルテージレギュレーター キャブレターソレノイド ヒーターブロワモーター バックランプ リヤウインドデミスター

番号	名 称	位置	番号	名 称	位置
1	右前車幅灯	62	46	前フォグランプスイッチ(X3)	57-58
	右前方向指示灯	47		後フォグランプスイッチ(オプション)	60
2	右ヘッドランプ	53-54		後ウインド間欠ワイパースイッチ	39
3	ホーン	32		後ウインド定時ワイパーウォッシャースイッチ	41
4	右フォグランプ(X3)	58	47	計器板ユニット	
5	アイドルアップソレノイド(トルコン用)	6		充電警告灯	15
6	左フォグランプ(X3)	57		フロントパッド摩耗警告灯	16
7	左ヘッドランプ	51-52		トルコン油温警告灯	17
8	左前車幅灯	61		エンジン油温警告灯	18
	左前方向指示灯	45		燃料残量警告灯	19
9	オイルネーター(V. レギュレーター付き)	8		エンジン油圧警告灯	22
10	ノイズサプレッサ	7		停止警告灯"STOP"	23
11	アイドルカットソレノイド	11		LHM油量警告灯	24
12	エンジン油温スイッチ	18		フュエルゲージ	21
13	右前ブレーキパッド	17-18		時計と照明	25-26
14	左前ブレーキパッド	15-16		タコメーター	26
15	点検用マルチコネクタ(12ピン)	27		車体シルエット照明	27
16	ニュートラルリレー(トルコン用)	2a 6		回転ドラム内照明	28
17	前フォグランプリレー(X3)	53a 55		走行積算計照明	66
18	後フォグランプリレー(X3)	53a 55		フュエルゲージ照明	67
19	エンジン油圧スイッチ	22	48	回転ドラム内照明用レオスタット	26
20	スターターモーター	2a 4	49	フラッシュャーユニット	47
21	ディストリビューター	25a 30	50	スイッチユニット:(左)	
22	上死点センサ	28		前ウインドワイパーウォッシャースイッチ	31a 35
23	No.1 シリンダーセンサ	28		ホーンスイッチ	32
24	ノイズサプレッサ	30		方向指示灯スイッチ	47a 49
25	イグニッションコイル	29-30		ライト切換,パッシングライトスイッチ	51a 56
26	ハイテンションセンサコネクタ	28		ライトスイッチ	52-55-56
27	フューズボックス	10-21-58-60-72	51	エンジンスイッチ照明	69
28	フロントウインドウォッシャポンプ	31	52	エンジンスイッチ	4-10-21-29
29	LHM油圧スイッチ	23	53	チョークボタン警告灯	30
30	クラッチソレノイド(トルコン用)	5	54	フュエルゲージセンディングユニット	20
31	LHMオイルレベルスイッチ	24	55	ルームランプ	75-76
32	フロントワイパーモーター	34a 36	56	リヤウインドデミスタ熱線	12
33	ベンチレーターファンモーター	13-14	57	リヤウインドワイパータイマーリレー	39a 41
34	バックランプスイッチ	10	58	右後コンビネーションランプ	
35	トルコン油温スイッチ	17		制動灯, 尾灯	71-64
36	クラッチ用シフトスイッチ(トルコン用)	6		方向指示灯	48
37	バッテリー	1		後退灯	10
38	右前ドアスイッチ	75		リヤフォグランプ	60
39	右前足元灯	73-74	59	トランクランプスイッチ	72
40	ベンチレーターコントロールスイッチ照明	13-67-68	60	後ウインドワイパーモーター	39-40
41	フロントウインドワイパー間欠リレー	35-36	61	ライセンスランプ	65-66
42	ストップスイッチ	71	62	トランクランプ	72
43	左前ドアスイッチ	74	63	左後コンビネーションランプ	
44	シガーライター	69		制動灯, 尾灯	70-63
45	ラジオ用電源	68		方向指示灯	46
46	ブッシュボタンスイッチユニット:(右)			後退灯	9
	リヤウインドデミスタスイッチ	12		リヤフォグランプ	59
	非常点滅灯スイッチ	44a 46	64	後ウインドウォッシャポンプ	42

ワイヤリング ハーネス

無印: 前部

C: コンバーター(トルコン)

D: 点検用コネクタ

AG: 左後

AD: 右後

P: 室内灯

GP: 左ドア後

DP: 右ドア後

RJ: 燃料計抵抗

EC: トランク照明

MR: 後部全体

カラー コード

BC: 白

BI: 青

Gr: 灰

J: 黄

Mr: 茶

Mv: 紫

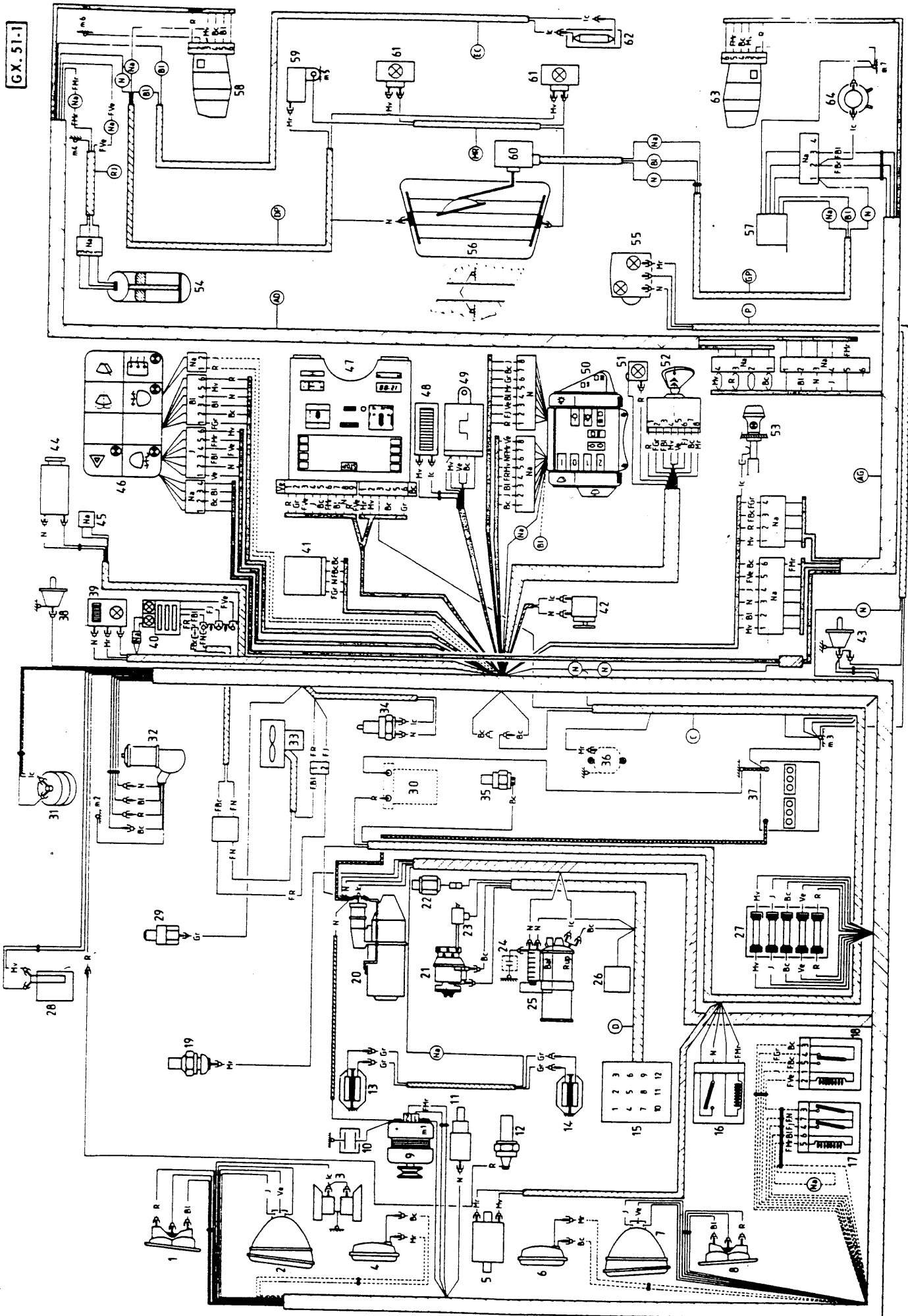
N: 黒

R: 赤

Ve: 緑

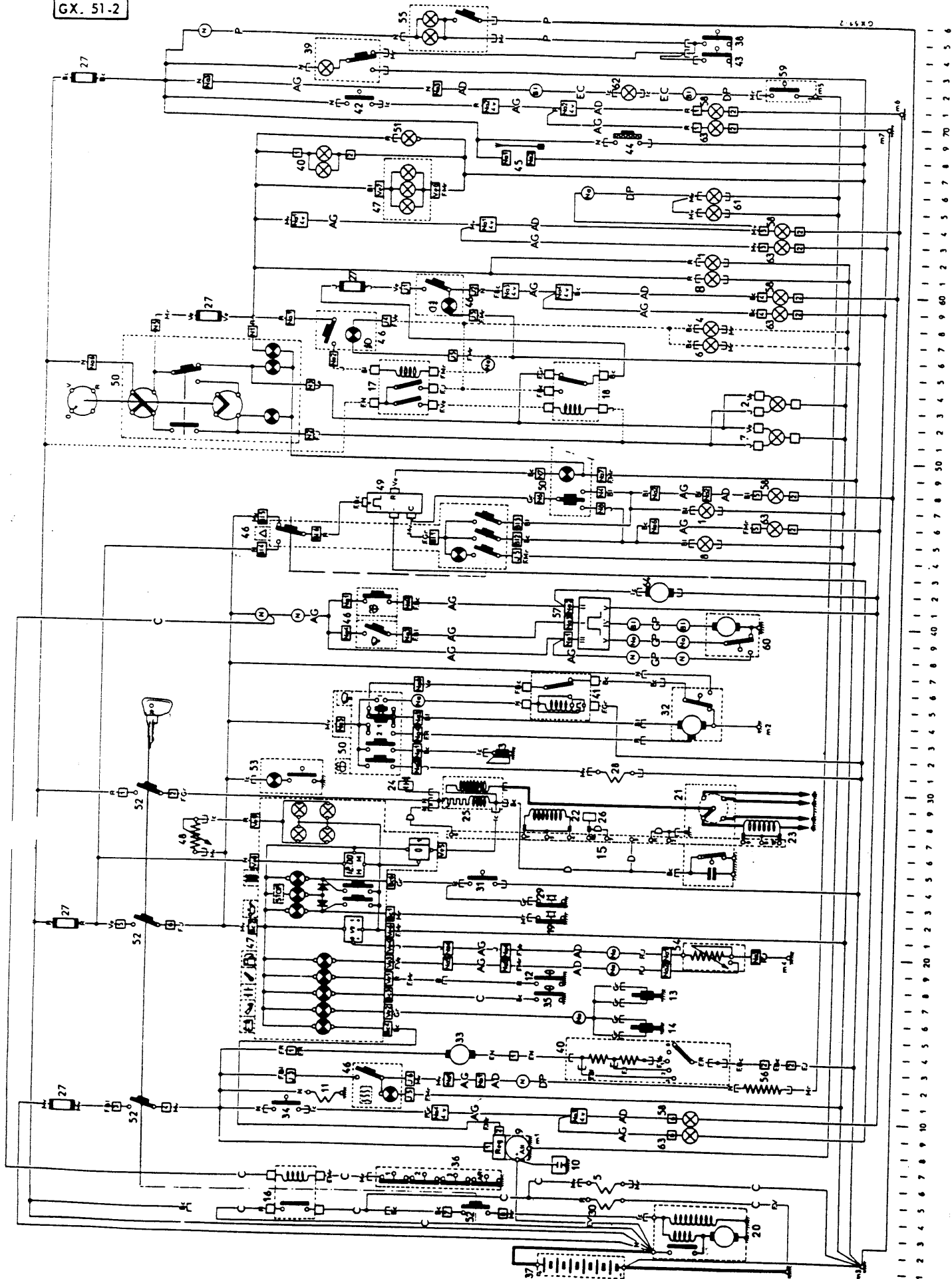
Ie: 無色

ワイヤリングダイアグラム (日本向け装置を除く) ヨーロッパ仕様

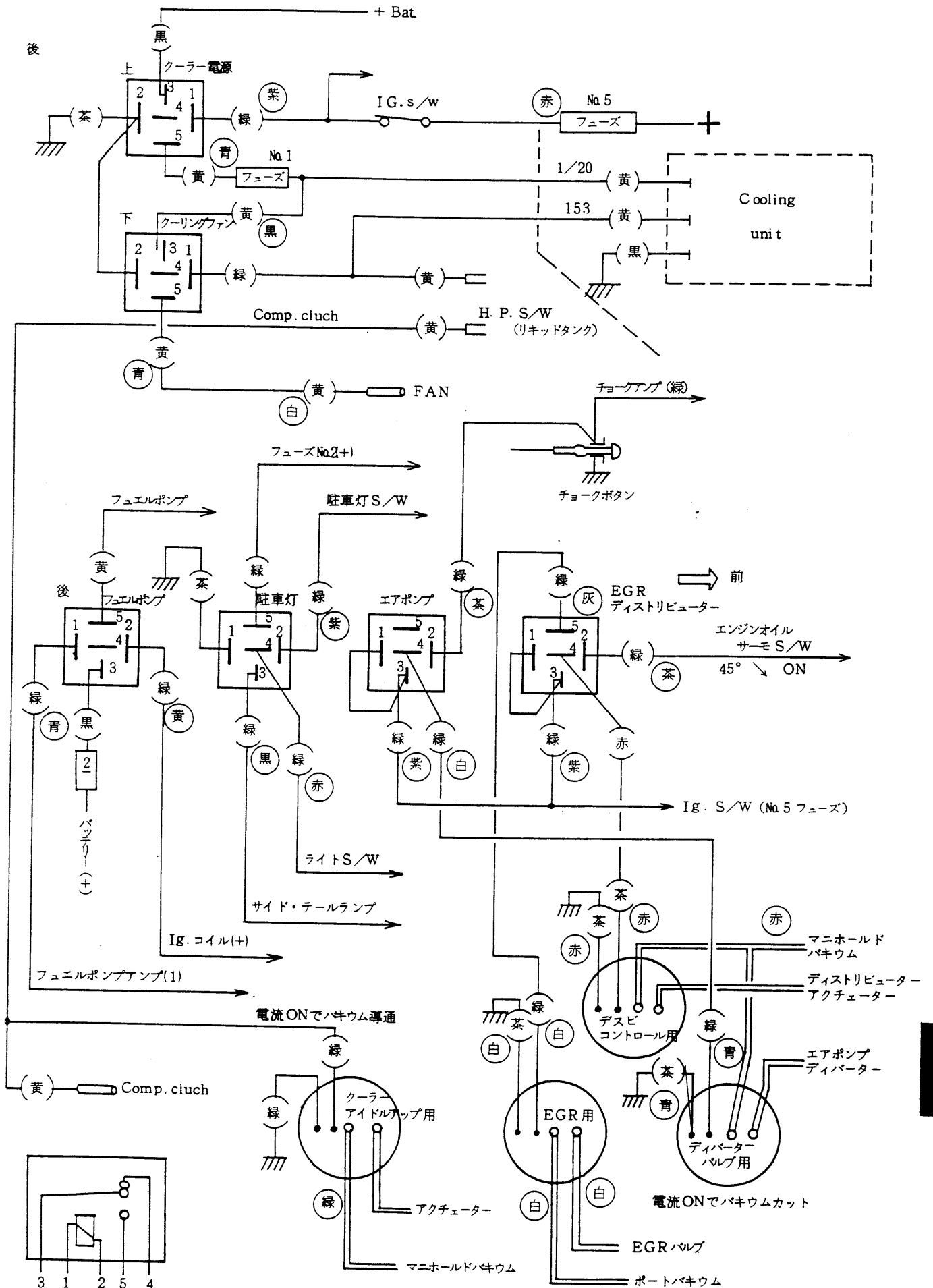


サーキットダイアグラム (日本向け装置を除く) ヨーロッパ仕様

GX. 51-2



GSAエンジンルーム内リレーとソレノイドバルブ



GSA計器板ソケット

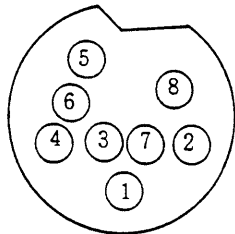
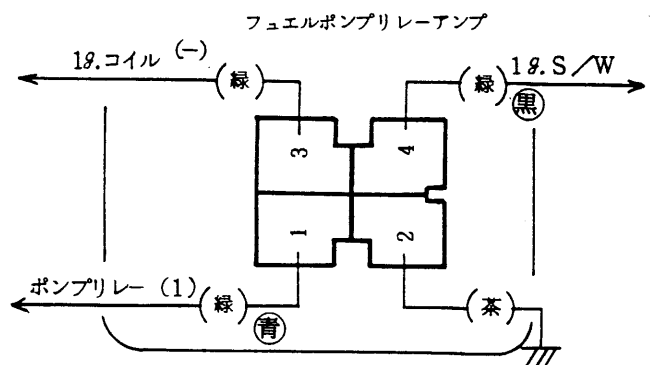
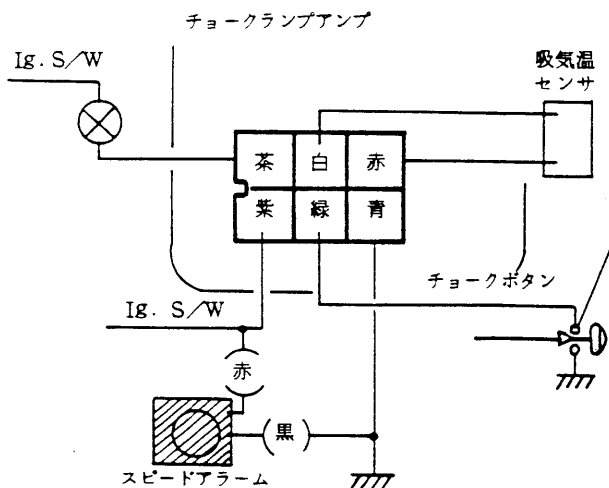
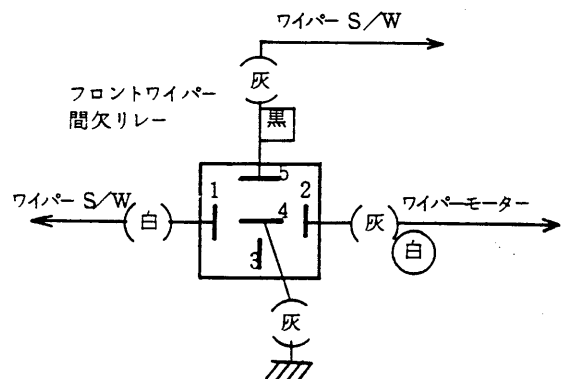
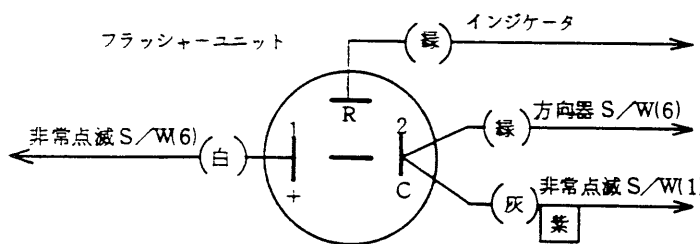
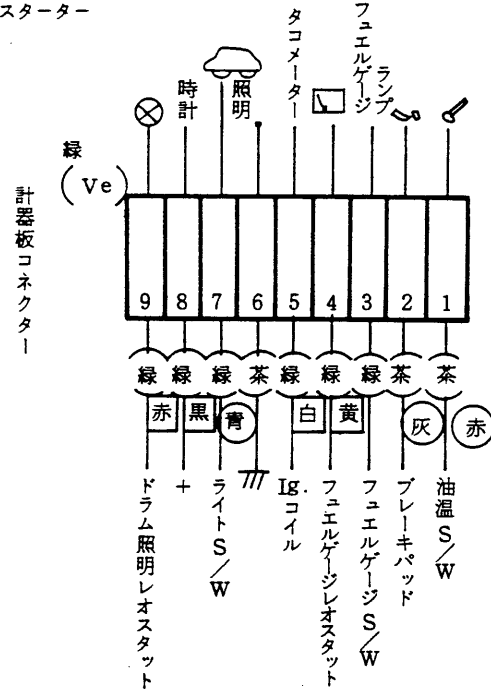
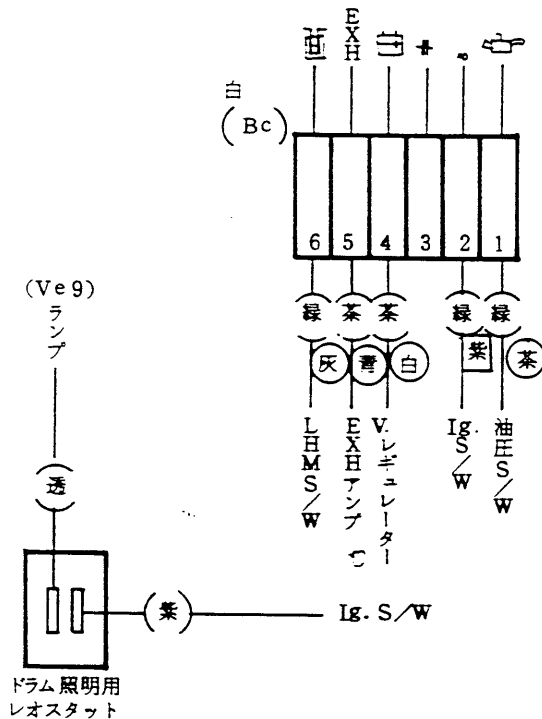


Fig. S/Wソケット(裏)

- 1 — (灰) — B (フューズなし)
- 2 — (灰) (赤) — Ig. コイル
- 3 — (青太) — フューズ紫(6)
- 4 — (青太) (紫) — ブロワ, バック, キャブソレノイド, リヤデミスター, Vレギュレーター
- 5 — (赤) — フューズ赤(5)
- 6 — (黄) — ゲージ, インジケータ, ドラム照明, ワイパー, ウォッシャ, チョークランプ, EXH
- 7 — (黄) (白) — B (フューズなし)
- 8 — (黄) (白) — スターター



1979年8月

補足版 No.1 : 1977年3月分を含む

No.2 :

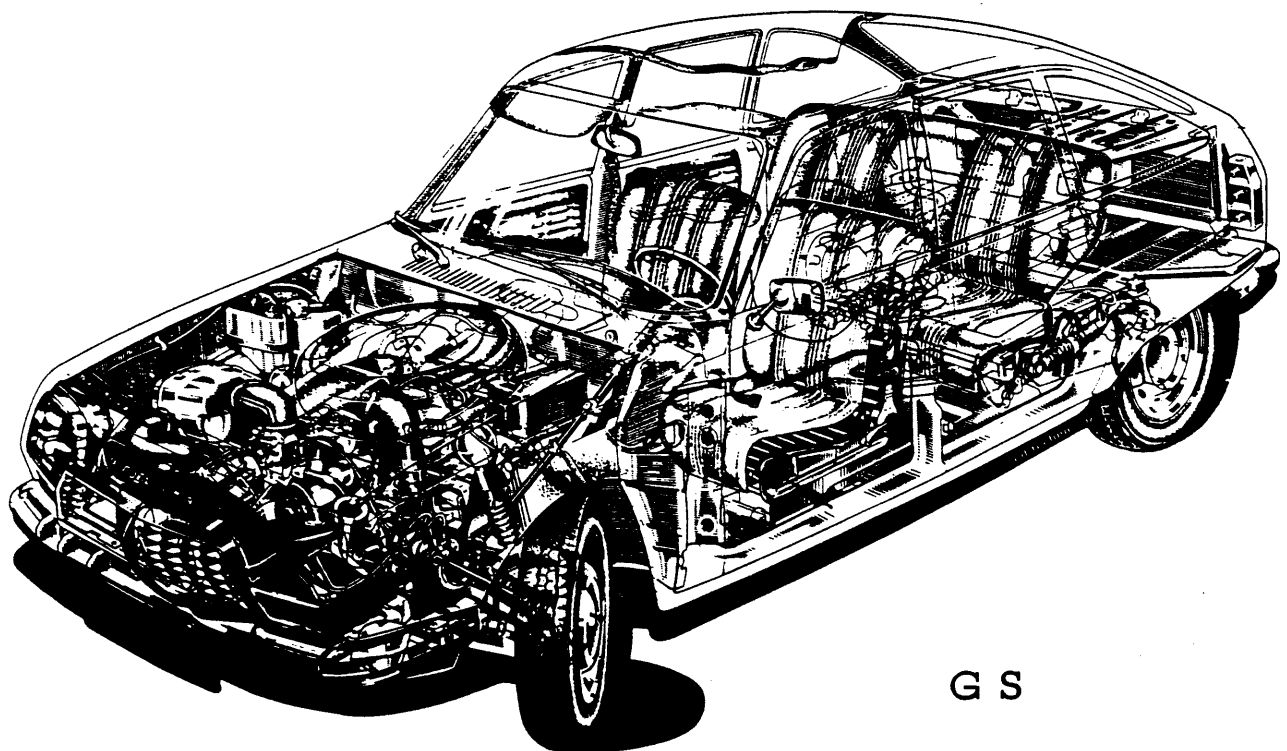
No.3 :

シトロエン GS リペアマニュアル(整備解説書)

諸 元

調 整

点 検



GS

SEIBU 西武自動車販売株式会社

このリペアマニュアルは、シトロエン社発行の仏語版及び英語版マニュアルを翻訳したものです。
ここに表記されている仕様、数値等は仏語版・英語版に基づくもので、従って日本仕様車と異なる場合もあります。

作業項目一覧表 (目次)

序 文

作業番号の最初につく文字Gは、GS車すべてに共通する作業を示す。

GE又はGFはGSエステートの5ドア又は3ドアを示す。

Geaはトルクコンバーター装着車を示す。

作 業 番 号	内 容	
	諸 元	
G..000	参考資料、諸元表(その1)写し	➡ ①
G. 00	一般諸元	
G. 00-661	ジャッキ使用位置	
G. 00-800	ルーフラックの取付け	
G. 00-854	車体寸法	
G. 01	エンブレムの取付け	
G. 02	電装品の保護	
G. 03	ハイドロリックシステムの作業上の注意	
	推薦材料	
	エンジン・キャブレター・排出ガス浄化装置・点火装置	➡ ②
G. 100-00	テクニカルデーター及びエンジン諸元	
G. 112-0	ロッカーアームの点検と調整	
G. 120-0	バルブタイミングの点検と調整	
G. 142-00	キャブレターの諸元 (G. 10 エンジン- 1015 cc)	
G. 142-00a	キャブレターの諸元 (G. 12/612 と 611 エンジン- 1220 cc)	
G. 142-00Jp	排出ガス浄化装置 (日本仕様) の諸元	
G. 142-0Jp	排出ガス浄化装置 (日本仕様) の点検と調整	
G. 142-0	キャブレターの点検とセッティング (G10エンジン-1015cc)	
G. 142-0a	キャブレターの点検とセッティング (G12エンジン-1220cc)	
G. 172-0	吸入空気予熱装置の点検	
G. 173-0	燃料装置の諸元と点検 (ポンプとフィルター)	
G. 210-00	点火装置の諸元 (G10エンジン-1015cc)	
G. 210-00a	点火装置の諸元 (G12エンジン-1220cc)	
G. 210-0	点火装置の点検と調整	
G. 220-0	エンジン油圧の点検と調整	
	クラッチ	➡ ③
G. 312-00	クラッチの諸元	
G. 314-0	クラッチコントロールの点検と調整	
Gea. 320-00	トルクコンバーターの諸元	
Gea. 320-0	トルクコンバーターとそのコントロールの点検と調整	
	ーエレクトロバルブコントロールスイッチの点検と調整	
	ートルクコンバーターの油圧点検	
	ギヤボックス	➡ ④
G. 330-00	4連ギヤボックスの諸元 (メカニカル クラッチ)	
Geo. 330-00	3連ギヤボックスの諸元 (トルクコンバーター)	
	ーギヤボックスとコンバーターのオイル交換	
	ドライブシャフト	➡ ⑤
G. 372-00	ドライブシャフトの諸元	
	ハイドロリックシステム	➡ ⑥
G. 390-00	ハイドロリックシステムの諸元と回路	
G. 390-0	ハイドロリックシステムの点検 (車上で)	

①

②

③

④

⑤

⑥

リペアマニュアルの使用方法

はじめに

マニュアルの利用を容易にするために、項目別に2巻に分類集録してあります。

ー第1巻

ー諸元、調整、点検

ー第2巻

ー取外しと取付け

ーオーバーホール

ー電気系統、ヒーター及びエアコンディション装置

ーボデーワーク

上記の2巻は別々に製本されています。多孔式バインダーで綴じてありますから、内容の変更や追加の場合の差替えが容易にできます。

各工場毎にリペアマニュアルを備えて御活用下さい。

構成

ー作業項目一覧表が目次になっています。

ー作業項目毎に一定の順序で編集されています。

ー作業に必要な工具リスト及び各修理工場で製作する工具の製作用図面が巻末にあります。

作 業

必要な作業項目がすぐ引出されるように考案されています。

作業番号はそれぞれ意味を持っています。

- a) " G " は車種を示すコード文字です。
- b) 前の 3 桁の数字は、構成部分又は要素を示します。
- c) 後の数字コードは内容又は作業の種類を示します。
 - 0 0 0 ……車の諸元
 - 0 0 ……単体の諸元
 - 0 ……点検と調整
 - 1, 4, 7 ……取外し及び取付け
 - 2, 5, 8 ……分解及び組立て
 - 3, 6, 9 ……修理及びオーバーホール

各項の端にある黒印は、目次の数字と矢印で該当項目を容易に引き出すためのものです。

工 具

特殊工具の番号には最後尾に T の字が付きます。

工具はフランスの FEINWICK 社、(Department AMA, 24 Bd Biron - 93404 St - Ouen - FRANCE, TEL 252-82-85) で製作されています。

—各修理工場で製作する工具は最初に MR の文字が付いています。

製作用の図面は、各巻の末巻に集録されています。

締付けトルク

トルクは次の単位で表示されています。

—キログラムメートル (kg - m)

重 要：締付けトルクの数字の前にトルクレンチの書いてある場合は、必ずトルクレンチを使用して下さい。

重要事項：作業項目の最初に、それぞれ締付けトルク一覧表があります。

アンダーラインが引かれているスクリュー、ナット、スタッド等は、特殊材質 SECURITY HARDWARE であることを示します。

再組立ての時には、他のものを使用しないで必ず指定品もしくは同品質のものを使用して下さい。

サービス案内

この車両に関する技術情報は下記にお問合せ下さい。

西武自動車販売株式会社 サービス部テクニカルセンター

〒240 横浜市保土ヶ谷区岡沢町81

TEL. (045) 331-1481 (代)

参 考 資 料 1.

(51年規制 B-GXGB)

諸 元 表

写

(その1)

53 自 車 第 9 8 2 号
53 自 車 第 1 7 2 号
52 自 車 第 8 4 0 号
新型自動車外第50153号

指 定 番 号		類 別 区 分		4 扉 セ ダ ン	
車 名 及 び 型 式		シトロエン・B-GXGB		届 出 年 月 日 昭和 52 年 8 月 20 日	
車 台 の 名 称 及 び 型 式		シトロエン・GXGB		変 更 届 出 年 月 日 昭和 53 年 10 月 23 日	
車 体 の 名 称 及 び 型 式				自 動 車 の 種 別 小 型	
製 作 者 の 氏 名 又 は 名 称		西武自動車販売株式会社		用 途 乗 用	
				車 体 の 形 状 箱 形	
長 さ m	4.120		車 両 重 量 kg	前 軸	585
幅 m	1.615			後 軸	345
高 さ m	1.350			計	930
軸 距 m		2.550		乗 車 定 員 人 5	
輪 距 m	前 輪	1.380		最 大 積 載 量 kg	
	後 輪	1.330			
室内又は荷台 の内側寸法 m	長 さ	1.740		車 両 重 量 kg	前 軸 690
	幅	1.205			後 軸 515
	高 さ	1.085			計 1205
	荷 台 オ フ セ ッ ト m				最大安定傾斜角度
原 動 機 の 型 式		G 12		車 輪 配 列 前 2 駆 動 ・ 後 2	
総排気量又は定格出力ℓ又はkw		1.221		タ イ ヤ	前 輪 145SR15ZX
燃 料 の 種 類		ガソリン			後 輪 145SR15ZX
備 考		(1) 車台番号及び原動機型式の打刻様式・打刻位置及び打刻方法			
			打 刻 様 式	打 刻 位 置	打 刻 方 法
		車 台	6GX-GB-00GB00016※	右前輪タイヤハウス防火壁上面	黒皮のまま
		原 動 機	G 12	エンジンブロック右後方上面	直接打刻 (黒皮のまま)
		(2) 通称名 シトロエン GS			
		(3) 旅客運送事業用自動車としての適否 適・否 (頭部後傾抑止装置等)			
		(4) 改善指示事項			
		1. 操作装置中の始動装置、前照灯切換えスイッチ、デフロスタの操作装置及び方向指示器の指示する方向毎の操作位置の識別表示を行なうこと。			
		2. 後席の側面に隣接する座席に座席ベルトを取付けること。			
		3. 排気温度異常上昇警報装置の警報発生に対応してとる緊急措置方法を明記したコーション・ラベルを貼付けること。			
		4. 前照灯を左側通行用のものとする。			
		5. 後面に備えるコンビネーション・ランプは消灯している他の灯火に対して誤認を与えるような光が漏れないこと。			
		6. 非常信号用具を備えること。			
		7. 速度警報装置を備えること。			
		8. 自動車登録番号標の取付枠は容易に取り外せない構造とすること。			
		(5) タイヤ空気圧及び荷重		145SR15ZX 2.1kg/cm ²	

注 ※印は変更項目を示す。

参考資料 2.

(48年規制 GXGB 左ハンドル マニュアルG/B)

諸 元 表

㊦

(その1)

指 定 番 号		類 別 区 分 番 号		4 扉セダン左ハンドル	
車 名 及 び 型 式		シトロエン GXGB		届 出 年 月 日 昭和 4 8 年 1 月 2 3 日	
車 台 の 名 称 及 び 型 式				変 更 届 出 年 月 日 昭和 4 8 年 1 2 月 1 4 日	
車 体 の 名 称 及 び 型 式				自 動 車 の 種 別 小 型	
製 作 者 の 氏 名 又 は 名 称		西武自動車販売株式会社		用 途 乗 用	
				車 体 の 形 状 箱 形	
長 さ m	4.120	車 両 重 量 kg	前 軸	5 6 0	
幅 m	1.610		後 軸	3 3 5	
高 さ m	1.350		計	8 9 5	
軸 距 m		2.550	乗 車 定 員 人		5
輪 距 m	前 輪	1.380	最 大 積 載 量 kg		
	後 輪	1.330			
室内又は荷台 の内側寸法 m	長 さ	1.740	車 両 総 重 量 kg	前 軸	6 6 5
	幅	1.260		後 軸	5 0 5
		高 さ		1.140	計
	荷 台 オ フ セ ッ ト m			最大安定傾斜角度	
				右 5 0 °	
原 動 機 の 型 式		G 1 2	車 輪 配 列		前 2 駆 動 ・ 後 2
総排気量又は定格出力ℓ又はkw		1.221	タ イ ヤ	前 輪	1 4 5 - 1 5 Z X
燃 料 の 種 類		ガソリン		後 輪	1 4 5 - 1 5 Z X
備 考		(1) 車台番号及び原動機型式の打刻様式・打刻位置及び打刻方法			
			打 刻 様 式	打 刻 位 置	打 刻 方 法
		車 台	㊦ 00GB0323㊦	エンジンルーム内右側後方上部	黒皮のまま
		原 動 機	G12/612 0641007439	エンジンブロック 後方上部	プレート
		(2) 通称名 シトロエン GS1220			
		(3) 旅客運送事業用自動車としての適・否 ㊦ (座席ベルト 頭部後傾抑止装置 側面ガラスの厚さ等)			
		(4) 改善措置事項			
		1. ナンバーステーを容易に取り外せない構造とすること。			
		2. 運転者席及び助手席に座席ベルトを取付けること。			
		3. 運転者席及び助手席に頭部後傾抑止装置を取付けること。			
		4. 非常信号用具を備えること。			
		5. 前照灯を左側通行用のものとする。			
		6. 番号灯の光度を向上すること。			
		7. 尾灯を5W以上とすること。			
		8. 始動装置、前照灯切換えスイッチ、警音器の操作装置及び方向指示器の指示する方向毎の操作位置の識別表示を行うこと。			
				(5) タイヤサイズ 145-15ZX 410kg (2.1kg/cd)	

参考資料 3.

(48年規制 GXGB 左ハンドルオートマチック)

諸 元 表

⑤

(その1)

48自動車第	1138号
48自動車第	1036号
48自動車第	710号
48自動車第	456号
48自動車第	41号
新型自動車外第	50088号

指 定 番 号		類 別 区 分 番 号		4 扉セダン左ハンドル オートマチック		
車 名 及 び 型 式		シトロエン GXGB		届 出 年 月 日 昭和48年 1月23日		
車 台 の 名 称 及 び 型 式				変 更 届 出 年 月 日 昭和48年12月14日		
車 体 の 名 称 及 び 型 式				自 動 車 の 種 別 小 型		
製 作 者 の 氏 名 又 は 名 称 西武自動車販売株式会社		用 途		乗 用		
		車 体 の 形 状		箱 形		
長 さ m	4.120	車 両 重 量 kg	前 軸	570		
幅 m	1.610		後 軸	335		
高 さ m	1.350		計	905		
軸 距 m		2.550	乗 車 定 員 人		5	
輪 距 m	前 輪	1.380	最 大 積 載 量 kg			
	後 輪	1.330				
室内又は荷台 の内側寸法 m	長さ	1.740	車 両 重 量 kg	前 軸	675	
	幅	1.260		後 軸	505	
					計	1,180
	高さ	1.140	最大安定傾斜角度		左	59°
荷 台 オ フ セ ッ ト m					右	59°
原 動 機 の 型 式		G 12	車 輪 配 列		前2駆動・後2	
総排気量又は定格出力ℓ又は kw		1.221	タ イ ヤ	前 輪	145-15ZX	
燃 料 の 種 類		ガソリン		後 輪	145-15ZX	
備 考	(1) 車台番号及び原動機型式の打刻様式・打刻位置及び打刻方法					
		打 刻 様 式		打 刻 位 置		打 刻 方 法
	車 台	(例) 0GX-GB-00GB00010		エンジンルーム内 右側後方上部		黒皮のまま
	原 動 機	G 12		エンジンブロック 後方上部		プレート
	(2) 通称名 シトロエン GS1220 オートマチック					
	(3) 旅客運送事業用自動車としての適否 ……適・ ☒ (座席ベルト、頭部後傾抑止装置、側面ガラスの厚さ等)					
	(4) 改善措置事項					
	1. ナンバーステーを容易に取り外せない構造とすること。					
	2. 運転者席及び助手席に座席ベルトを取付けること。					
	3. 運転者席及び助手席に頭部後傾抑止装置を取付けること。					
	4. 非常信号用具を備えること。					
	5. 前照灯を左側通行用のものとすること。					
	6. 番号灯の光度を向上すること。					
	7. 尾灯を5W以上とすること。					
	8. 始動装置、前照灯切換えスイッチ、警音器の操作装置及び方向指示器の指示する方向毎の操作位置の識別表示を行うこと。					
	(5) タイヤサイズ 145-15ZX 410kg (2.1kg/cm)					

参考資料 4.

(48年規制 GXGB 右ハンドルマニュアルG/B)

諸 元 表

⑦

(その1)

指 定 番 号		類 別 区 分 番 号	50自動車第 112号												
車 名 及 び 型 式	シトロエン GXGB	届 出 年 月 日	48自動車第 1138号												
車 台 の 名 称 及 び 型 式		変 更 届 出 年 月 日	48自動車第 1036号												
車 体 の 名 称 及 び 型 式		自 動 車 の 種 別	48自動車第 710号												
製 作 者 の 氏 名 又 は 名 称	西武自動車販売株式会社	用 途	48自動車第 456号												
		車 体 の 形 状	48自動車第 41号												
長 さ m	4120	乗 車 定 員 人	新型自動車外第 50088号												
幅 m	1610	最 大 積 載 量 kg	4扉セダン右ハンドル												
高 さ m	1350	前 軸	565												
軸 距 m	2550	後 軸	335												
輪 距 m	前輪 1380 後輪 1330	計	900												
室内又は荷台 の内側寸法 m	長さ 1740 幅 1260 高さ 1140	車 両 重 量 kg	前軸 670 後軸 505 計 1175												
荷 台 オ フ セ ッ ト m		最大安定傾斜角度	左 49° 右 46°												
原 動 機 の 型 式	G 12	車 輪 配 列	前2駆動・後2												
総排気量又は定格出力ℓ又は kw	1.221	タ イ ヤ	前輪 145-15 ZX 後輪 145-15 ZX												
燃 料 の 種 類	ガソリン														
備 考	(1) 車台番号及び原動機型式の打刻様式・打刻位置及び打刻方法 <table border="1"> <tr> <th></th><th>打 刻 様 式</th><th>打 刻 位 置</th><th>打 刻 方 法</th></tr> <tr> <td>車 台</td><td>(例) 00GB00010</td><td>エンジンルーム内 右側後方上部</td><td>黒皮のまま</td></tr> <tr> <td>原 動 機</td><td>G 12</td><td>エンジンブロック 後方上部</td><td>プレート</td></tr> </table> (2) 通称名 シトロエン GS1220右ハンドル (3) 旅客運送事業用自動車としての適否 適・㊦ (座席ベルト 頭部後傾抑止装置等) (4) 改善指示事項 - ナンバーステータを容易に取り外せない構造とすること。 - 運転者席及び助手席には座席ベルトを備えること。 - 非常信号用具を備えること。 - 前照灯は左側通行用のものとすること。 - 番号灯は夜間後方20メートルの距離から自動車登録番号標の数字等の表示が確認できるものであること。 - 始動装置、前照灯切換えスイッチ、警音器の操作装置及び方向指示する方向毎の操作位置の識別表示を行うこと。 (5) タイヤサイズ 145-15ZX 410kg (2.1kg/cd)				打 刻 様 式	打 刻 位 置	打 刻 方 法	車 台	(例) 00GB00010	エンジンルーム内 右側後方上部	黒皮のまま	原 動 機	G 12	エンジンブロック 後方上部	プレート
	打 刻 様 式	打 刻 位 置	打 刻 方 法												
車 台	(例) 00GB00010	エンジンルーム内 右側後方上部	黒皮のまま												
原 動 機	G 12	エンジンブロック 後方上部	プレート												

参考資料 5.

(48年規制 GXGB 右ハンドルオートマチック)

諸 元 表

⑤

(その1)

50自動車第	112号
48自動車第	1138号
48自動車第	1036号
48自動車第	710号
48自動車第	456号
48自動車第	41号
新型自動車外第	50088号

指 定 番 号		類 別 区 分 番 号		4扉セダン右ハンドルオートマチック	
車 名 及 び 型 式		シトロエンGXGB型		届 出 年 月 日 昭和48年 1月23日	
車 台 の 名 称 及 び 型 式				変 更 届 出 年 月 日 昭和50年 3月 7日	
車 体 の 名 称 及 び 型 式				自 動 車 の 種 別 小 型	
製 作 者 の 氏 名 又 は 名 称 西武自動車販売株式会社		用 途		乗 用	
		車 体 の 形 状		箱 形	
長 さ m	4.120	車 両 重 量 kg	前 軸	570	
幅 m	1.610		後 軸	335	
高 さ m	1.350		計	905	
軸 距 m		2.550	乗 車 定 員 人		5
輪 距 m	前 輪	1.380	最 大 積 載 量 kg		
	後 輪	1.330	車 両 重 量 kg	前 軸	675
室内又は荷台 の内側寸法 m	長さ	1.740		後 軸	505
	幅	1.260		計	1,180
	高さ	1.140	最大安定傾斜角度		左 49° 右 49°
荷 台 オ フ セ ッ ト m					
原 動 機 の 型 式		G 12	車 輪 配 列		前2駆動・後2
総排気量又は定格出力ℓ又はkw		1.221	タ イ ヤ	前 輪	145-15 ZX
燃 料 の 種 類		ガソリン		後 輪	145-15 ZX
備 考		(1) 車台番号及び原動機型式の打刻様式・打刻位置及び打刻方法			
			打 刻 様 式	打 刻 位 置	打 刻 方 法
		車 台	(例) ●GX-GB-00GB0001●	エンジンルーム内 右側後方上部	黒皮のまま
		原 動 機	G 1 2	エンジンブロック 後方上部	プレート
		(2) 通称名 シトロエン GS1220右ハンドル			
		(3) 旅客運送事業用自動車としての適否 適・Ⓖ (座席ベルト 頭部後傾抑止装置等)			
		(4) 改善指示事項			
		1. ナンバーステアを容易に取り外せない構造とすること。			
		2. 運転者席及び助手席には座席ベルトを備えること。			
		3. 非常信号用具を備えること。			
		4. 前照灯は左側通行用のものとする。			
		5. 番号灯は夜間後方20メートルの距離から自動車登録番号標の数字 等の表示が確認できるものであること。			
		6. 始動装置、前照灯切換えスイッチ、警音器の操作装置及び方向指示 する方向毎の操作位置の識別表示を行うこと。			
		(5) タイヤサイズ 145-15ZX 410kg (2.1kg/cd)			

参考資料 6.

(48年規制 GXGA GS1015)

諸 元 表

(写)

47 自 車 第 211号

新型自動車外第50063号

(その1)

指 定 番 号		類 別 区 千 番 号	4 扉 セ ダ ン												
車 名 及 び 型 式	シトロエン GXGA	届 出 年 月 日													
車 台 の 名 称 及 び 型 式		変 更 届 出 年 月 日													
車 体 の 名 称 及 び 型 式		自 動 車 の 種 別	小 型												
製 作 者 の 氏 名 又 は 名 称	西武自動車販売株式会社	用 途	乗 用												
		車 体 の 形 状	箱 形												
長 さ m	4 1 2 0	車 両 重 量 kg	前 軸 5 4 0												
幅 m	1 6 1 0		後 軸 3 3 5												
高 さ m	1 3 5 0		計 8 7 5												
軸 距 m	2 5 5 0	乗 車 定 員 人	5												
輪 距 m	前 輪 1 3 8 0 後 輪 1 3 3 0	最 大 積 載 量 kg													
室内又は荷台 の内側寸法 m	長 さ 1 7 4 0 幅 1 2 6 0 高 さ 1 1 4 0	車 両 重 量 kg	前 軸 6 4 5 後 軸 5 0 5 計 1 1 5 0												
荷 台 オ フ セ ッ ト m		最 大 安 定 傾 斜 角 度	左 5 3 ° (計 算 値) 右 5 3 ° (")												
原 動 機 の 型 式	G 1 0	車 輪 配 列	前 2 駆 動 ・ 後 2												
総排気量又は定格出力ℓ又は kw	1.0 1 5	タ イ ヤ	前 輪 1 4 5 - 1 5 Z X 後 輪 1 4 5 - 1 5 Z X												
燃 料 の 種 類	ガ ソ リ ン														
備 考	(1) 車台番号及び原動機型式の打刻様式・打刻位置及び打刻方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>打 刻 様 式</th><th>打 刻 位 置</th><th>打 刻 方 法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車 台</td><td>(例) ⑩10GA 3689⑩</td><td>エンジンルーム内右側後方上部</td><td>黒皮のまま</td></tr> <tr> <td>原 動 機</td><td>(例) G10/612 0611086083</td><td>エンジンブロック 後方上部</td><td>プ レ ー ト</td></tr> </tbody> </table> (2) 通称名 シトロエン GS (3) 旅客運送事業用自動車としての適否 適・㊦ (ヘッドレスト シートベルト 側面ガラスの厚さ、等) (4) 改善措置事項 - ナンバーステータを容易に取外せぬ構造とすること。 - 運転者席に座席ベルトを取付けること。 - 運転者席に頭部後傾抑止装置を取付けること。 - 非常信号用具を備えること。 - 右側に後写鏡を備えること。 - 前照灯を左側通行用のものとすること。 - 駐車灯を備えること。 - 非常点滅表示灯を備えること。 - 番号灯の光度を向上すること。 (5) タイヤ推奨荷重 4 1 0 kg 空気圧 2.1 kg/cm²				打 刻 様 式	打 刻 位 置	打 刻 方 法	車 台	(例) ⑩10GA 3689⑩	エンジンルーム内右側後方上部	黒皮のまま	原 動 機	(例) G10/612 0611086083	エンジンブロック 後方上部	プ レ ー ト
	打 刻 様 式	打 刻 位 置	打 刻 方 法												
車 台	(例) ⑩10GA 3689⑩	エンジンルーム内右側後方上部	黒皮のまま												
原 動 機	(例) G10/612 0611086083	エンジンブロック 後方上部	プ レ ー ト												

車種別一覧表

(除く エステート)

G S サルーン (1015cc)		
公 的 記 号	通 称 名	エンジン番号プレート
GXシリーズGA 1015cc エンジン	G S クラブ又はコンフォート 09.1970→09.1972	G10/612 (マニュアルギヤボックス) G10/611 (トルクコンバーター)
	G S 09.1970→01.1974	G10/612 (マニュアルギヤボックス)
	Gスペシャル 01.1974→	
	G S X 09.1974→	

G S サルーン (1220cc)		
公 的 記 号	通 称 名	エンジン番号プレート
GXシリーズGR 1220cc エンジン	GS 1220 09.1972→01.1974	G12/612 (マニュアルギヤボックス) G12/611 (トルクコンバーター)
	GS 1220クラブ 09.1972→09.1974	
	Gスペシャル 1220 01.1974→09.1974	
	GSクラブ 09.1974→	
	GSパラス 09.1974→	
GXシリーズ GH 1220cc エンジン	GSX2 10.1974→	G12/619 (マニュアルギヤボックス)

I. 一般諸元

乗車定員 :	サルーン型及び5ドアエステート型	5
	3ドアエステート型	2

タイヤ :

サイズ及び型 145 × 15 - Z X

空気圧 {	フロント	1.8 バール 26 Psi
	リヤ {	サルーン及び5ドアエステート 1.9 バール 28 Psi
		3ドアエステート 2.1 バール 30 Psi

ホイール・リム 4½ - J 15

II. 標準寸法

ホイールベース	2.550 m
フロント輪距	1.378 m
リヤ輪距	1.328 m
全長	4.120 m
全幅	1.608 m
全高 (標準車高時)	1.349 m
最底地上高 (低車高時)	0.070 m
最底地上高 (標準車高時)	0.154 m
最底地上高 (高車高時)	0.240 m
最小回転直径	
ボデー外端	1.0200 m
タイヤ外端	9.400 m

注 : 上記の数値はフランスにおける公表数値であり, 日本における数値とは多少異なる。

重 量（kg 表示）

（除く エステート）

車 種	走 行 時 車 両 重 量		総 重 量
	マニュアルギヤボックス	トルクコンバーター	
GSクラブ又はコンフォート	880	892	1295
GS	895		1315
Gスペシャル → 09.1974	895		1315
09.1974 →	925		1335
GSX	935		1335
GS 1220	900	912	1315
GS 1220 クラブ	900	912	1315
Gスペシャル 1220	900	912	1315
GS クラブ	930	942	1345
GS パラス	945	957	1345
GSX 2	940		1340

現在市販中の車

生産中止の車

注：上記の数値はフランスにおける公表数値であり，日本における数値とは多少異なる。

Ⅲ. 容 量 (全車種)

ー燃料タンク	43ℓ
ーハイドロリック回路 (リザーバータンクを含む)	3.5ℓ
ーエンジンオイル (オイル交換時)	3.5ℓ
ーギヤボックス (トルクコンバーターを除く, オイル交換時)	1.4ℓ

ト レ ー ラ ー 牽 引

車 種	トレーラー前部 にかかる 最大許容重量 kg	トレーラー車 総 重 量 (ブレーキなし) kg	トレーラー車 総 重 量 (ブレーキなし) kg	発進可能な 最大勾配 800kgの トレーラー牽引時	ルーフラック にかかる 最大許容重量 kg
サルーン 1015cc	50	460	800	1/9	60
サルーン 1220cc (GSX2を除く)	50	465	800	1/7	60
GSX2	50	470	800	1/7	60
5ドアエステート 1015cc	50	460	800	1/9	80
3ドアエステート 1015cc	50	445	800	1/9	80
5ドアエステート 1220cc	50	465	800	1/7	80
3ドアエステート 1220cc	50	450	800	1/7	80

注：上記の数値はフランスにおける公表数値。

車両番号標

G.006

S.A.A. CITROEN	
TYPE	SERIE
N°	PTC
	PTR

00FB0001

車台番号打刻

250000002

フレーム番号

シャシー番号プレート

00070

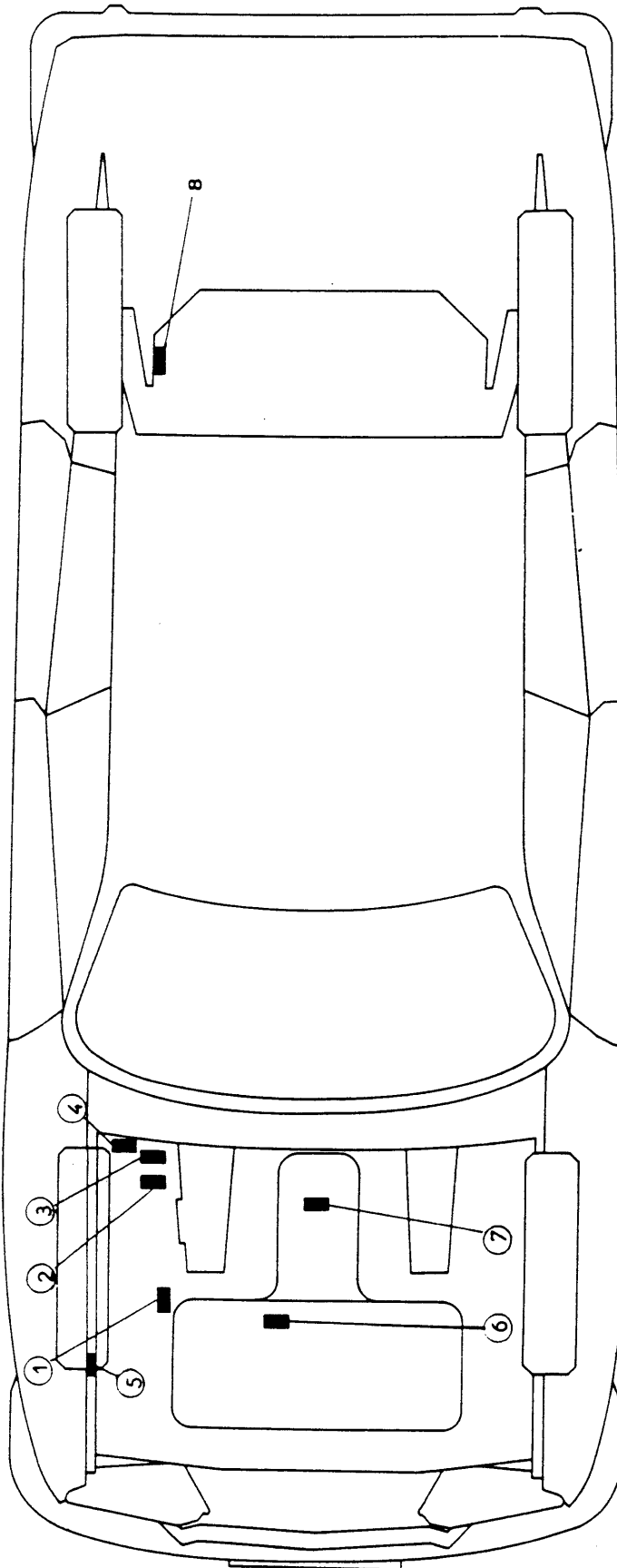
フロントサブフレーム番号

③

④

②

①



③

S.A.A. CITROEN	
0004	012345

ボデーコード番号

⑥

S.A.A. CITROEN	
N°0123456789	TYPE

エンジン番号

⑦

45

ギヤボックス番号

⑧

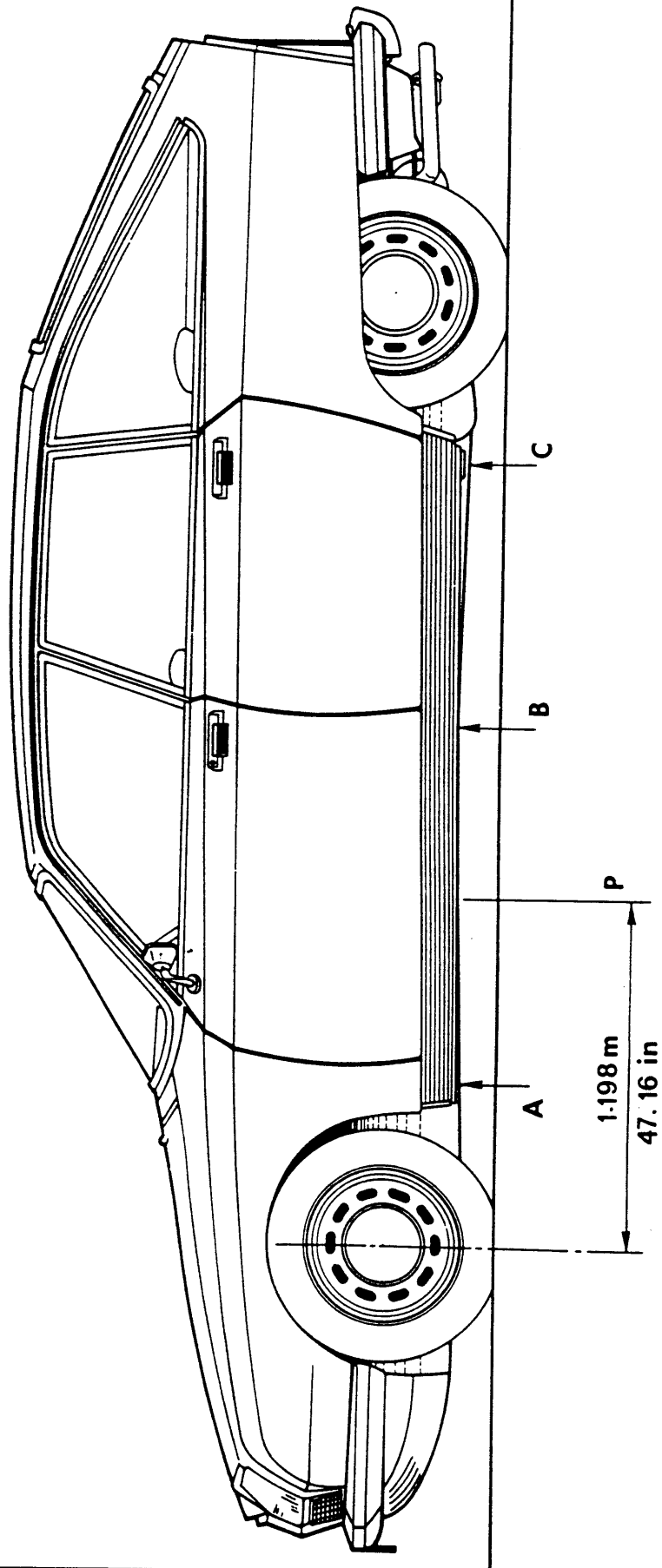
00050

リヤサブフレーム番号

ジャッキ使用位置

G 80.5

- A : ガレージ ジャッキ使用位置
- B : スタンド及びカージャッキ使用位置
- C : ガレージ ジャッキ使用位置 (後部)
- P : 車両重心
- C : ホイール取外し時の支持位置

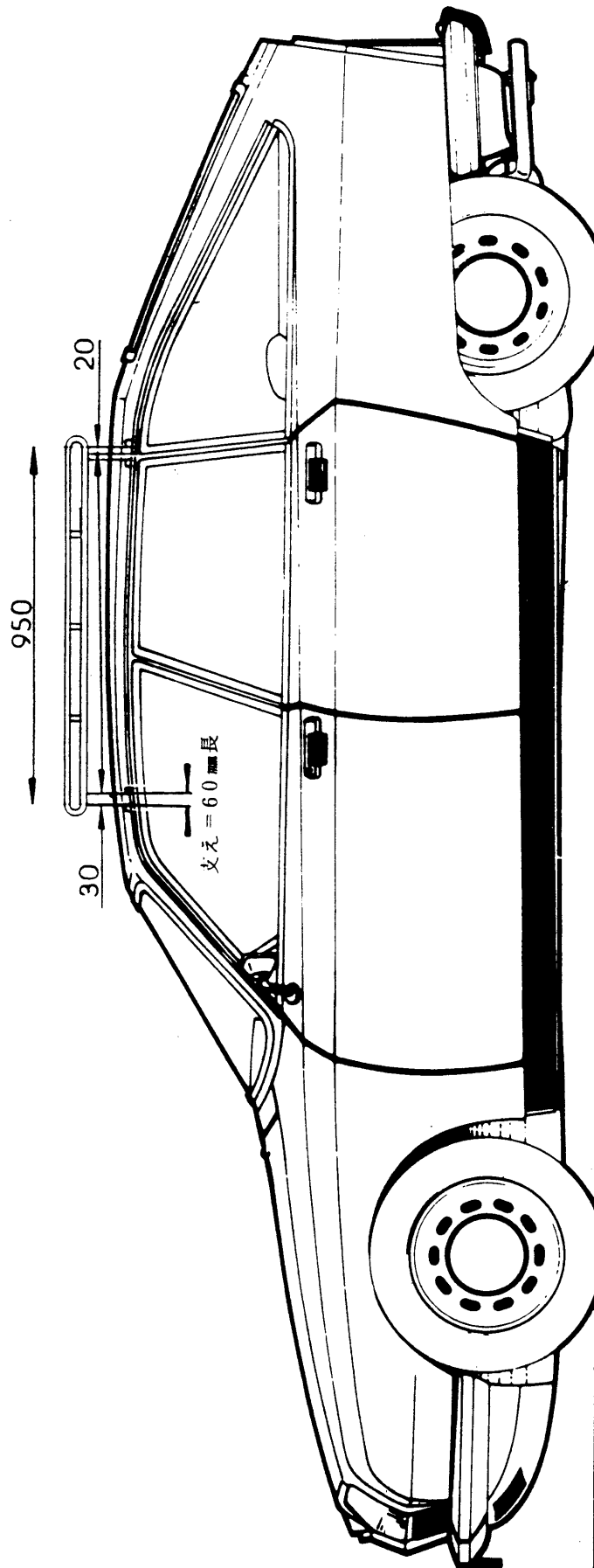


注, 上記の数値はフランスにおける公表数値

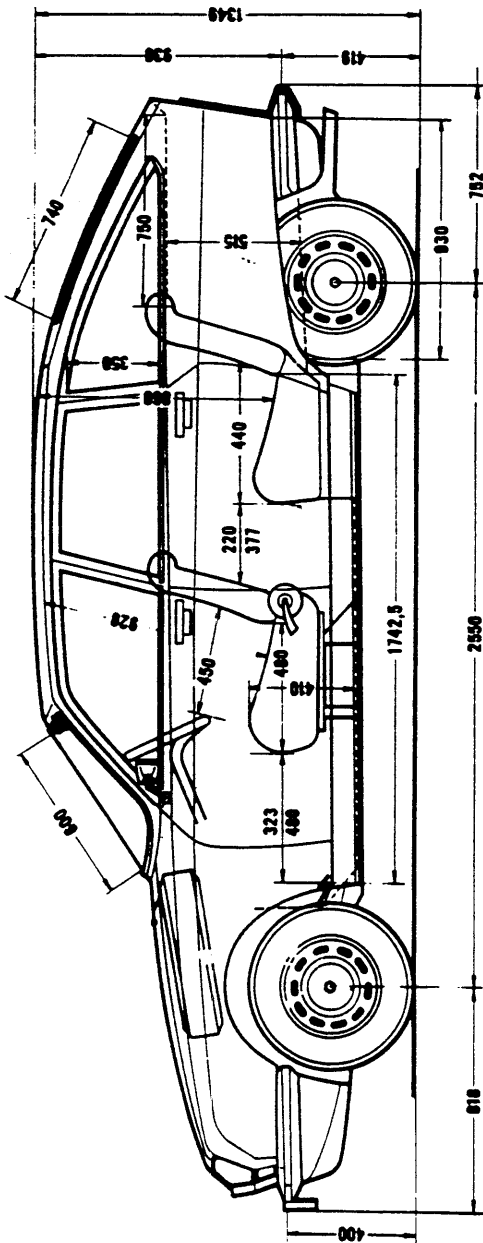
ルーフラックの取付け

G. 66-2

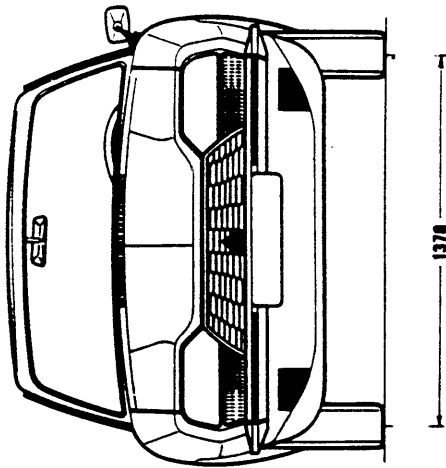
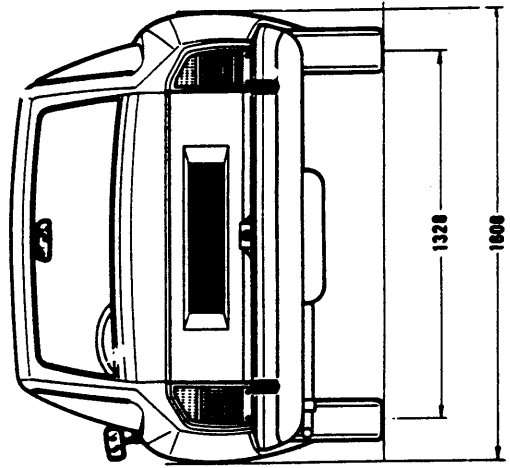
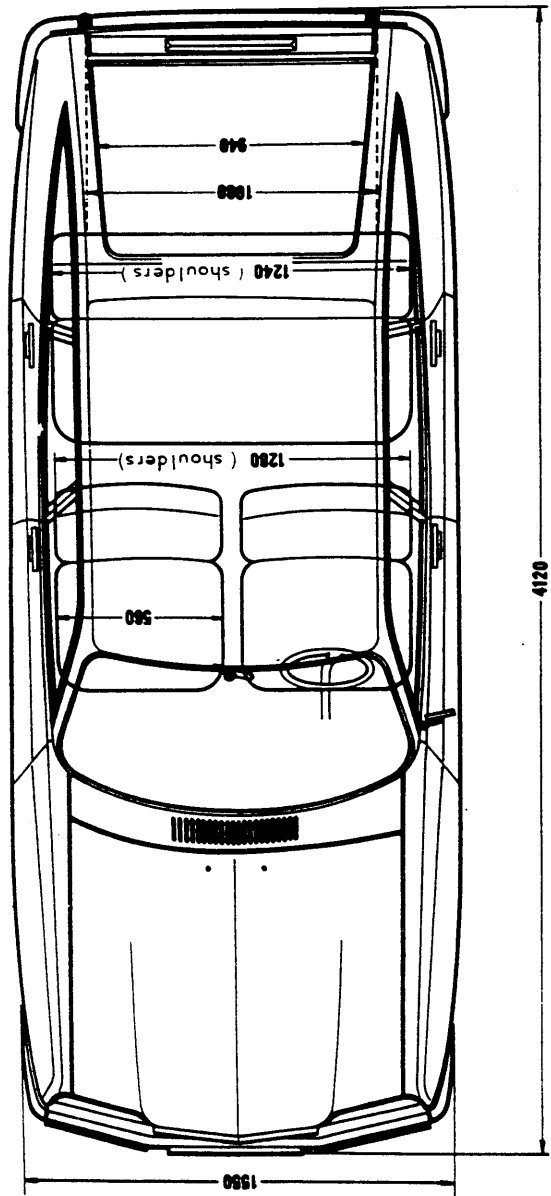
ルーフラックにかかる積載重量 60 kg



注, 上記の数値はフランスにおける公表数値



ウィンド全面積 2.79 m² (30 sq. ft.)

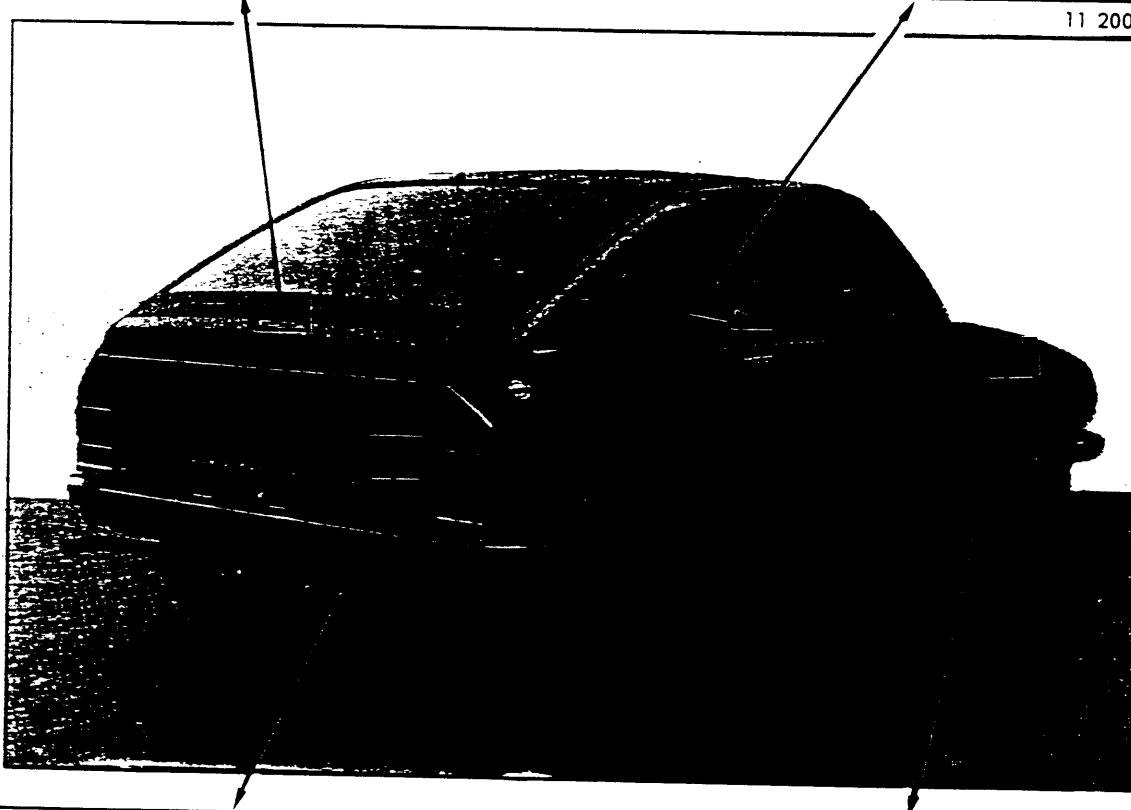
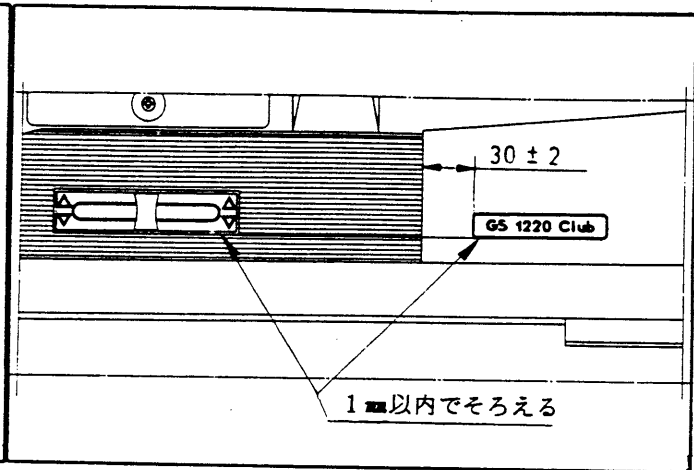
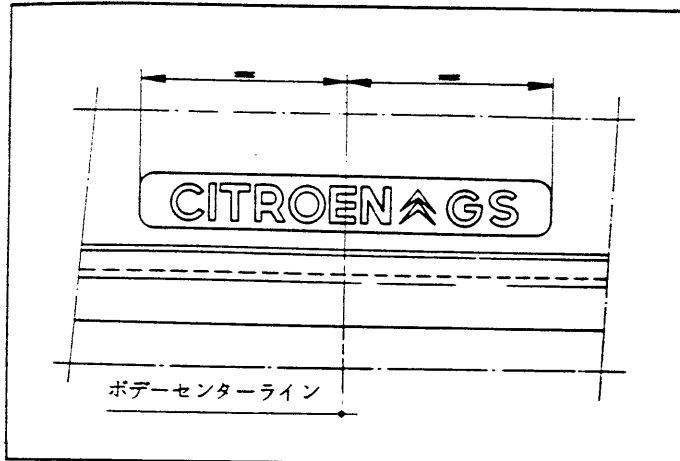
トランク容積 = 465 d m³ (16.4 cu. ft.)

注、上記の数値はフランスにおける公表数値

G. 90-18

エンブレムの取付け

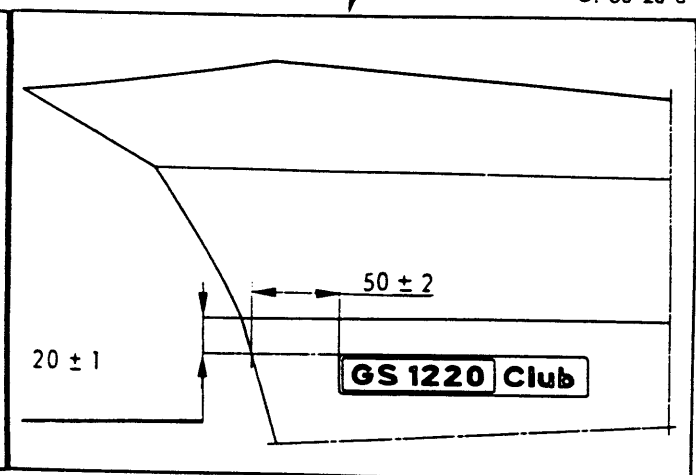
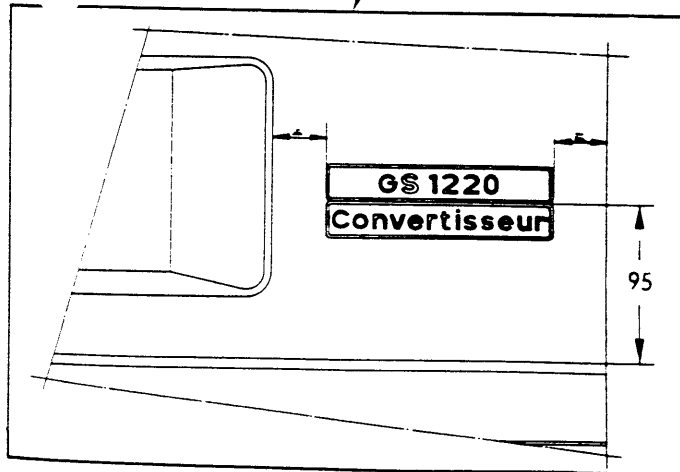
G. 80-19



11 200

G. F

G. 80-20 a



エンブレムの取付け

- 一取付け部の表面は、アルコールで十分に清掃する。
- 一取付け部に取付け用の位置を記入する。

一エンブレム裏側の保護用紙をはがす。

注意：粘着剤の部分にふれないこと。

一エンブレムをボデーに貼付け強く押しつける。

電 装 品 の 保 護

電装品の修理を、車に取付けた状態で行なう場合の注意事項

火災や重大事故の発生を防止するために、誤った作業やショートさせないように注意すること。

1. バッテリー

- a) ターミナルを外す場合は、先にアース側を外し、プラス側は後で外す。
- b) ターミナルを接続する場合は、アース側を最後に取付ける。
- c) アースコードを接続する前に、電流が流れていないことを確認する。それにはバッテリーのポールにアースコードを少し接触させてみる。スパークすれば電流が流れているので先に修正する。
- d) バッテリーのアース側は、確実に正しくアースさせる。
- e) スターターを作動する前に、両ターミナルの接続状態を確認する。

2. オルタネーターとレギュレーター

- a) オルタネーターの配線が外れている時は、オルタネーターを回転させてはならない。
- b) オルタネーターの配線を取付ける前にバッテリーのターミナルが正しく接続されていることを確かめる。
(マイナスアース)
- c) オルタネーターの出力点検の時、B端子やEXC端子をショートさせない。
- d) レギュレーターの配線を逆接続させない。
- e) オルタネーターへ逆に電流を流さないこと。これはオルタネーター及びレギュレーターの故障の原因となる。
- f) オルタネーターやレギュレーターのEXC端子には、ノイズサプレッサー等を取付けない。
- g) 充電機による充電や、ボデーにアーク溶接を行なう場合は、バッテリーの両端子を外す。

3. イグニッションコイル

- a) イグニッションスイッチからの(+)コードは、外部レジスターのターミナルに接続する。
コイルのBAT端子に接続しないこと。
- b) コイルのRUP端子には、ノイズサプレッサー等を取付けないこと。

4. ヘッドライトバルブ

- a) ヘッドライトのバルブを取替える場合は、ライトを消して5分以上たってバルブが冷えてからにする。
- b) バルブのガラス部分には直接触らないこと。

I. ハイドロリックシステムの作業上の注意

ハイドロリックシステムの構成部品及びオイルは、完全にクリーンに保たなければならない。従って、作業の際又は保管する場合は十分に注意すること。

1. ハイドロリックオイル

ハイドロリックシステムに使用されるオイルは、LHMという鉱物性合成油である。

他のオイルは絶対に使用しないこと。

このLHMは緑色をしていて、性質はエンジンオイルに似ているが、他のオイルを使用すると、ラバーのリングやシールを傷める。

2. ラバー部品

使用されるラバー部品は、必ず純正で且つ緑色のマークの付いたものを使用する。

すべてのゴム製品（パッキング、ホース、ダイアフラム等）はLHM用として白色又は緑色のマークが付けられ、特別な材質であることを示している。

3. 保 管

ハイドロリックシステムの部品は、必ずLHMを充満させて保管する。同様にパイプ類も衝撃を受けないように保護し、ホコリが入らないようにする。

LHM液は純正の容器のまま、ふたを完全に閉めて保管する。

補充用には1ℓ缶、入替用には5ℓ缶を使用して、一度開封した缶は、なるべく早く使い終るようにする。

4. 作業前の点検

ハイドロリックシステムの作動が、不良の場合は、修理の前に次のことを点検する。

a) ハイドロリックユニットのコントロール機構やメカニカルリンケージに、無理な力が加わっていないか良く点検する。

b) 高圧回路の圧力が低い場合は：

エンジンはアイドリングで：

ープレッシャーレギュレーターの油圧開放スクリュウ（ブリードスクリュウ）を1～1.5回転ゆるめると、レギュレーターからオイルの流れる音が聞える。

ー油圧開放スクリュウを締めこむ。しばらくするとレギュレーターはカットオフとなり、ハイポンプの作動音が小さくなる。

ハイポンプの作動音が小さくならない場合は、続いて次のことを点検する。

ーリザーバータンクのLHM液が不足していないか。

ーリザーバータンクのフィルターは、正常か、又汚れていないか。

ーハイプレッシャーポンプの吸入側にエア洩れがないか。正常に吸い上げているか。

ープレッシャーレギュレーターの油圧開放スクリュウは正しく締めてあるか。

5. 作業に取かかる前に必ず行なう作業：

a) 取外す部品又は修理する個所を十分に洗浄する。

ーバッテリーからマイナスケーブルを外す。

ー洗浄には、ガソリンかアルコールを使用する。

b) 回路内の油圧を抜く。

ー車高を高位置にし、エンジンを止める。

ープレッシャーレギュレーターのブリードスクリー（圧力開放スクリー）をゆるめ、車のフロント側が完全に下がるまで待つ。

ー手動車高調整レバーを走行位置にし車のリヤ側が安定するまで待つ。

ー手動車高調整レバーを再び高位置にし、車高が完全に下がるのを待つ。

6. 取外し作業中の注意：

a) 外したスチールパイプには栓をし、ゴム管類には内径に合った栓をしておく。

b) 各部品の配管を外したあとには、内径に合った栓をしておく。

注意：使用する栓類は、使用前に充分洗浄しておく。

7. ハイドロリック部品の点検とテスト：

ーLHM用の油圧テストベンチ（3654-T）を使用する。

このテストベンチと付属品には緑色の印が付けてある。

ーこのテストベンチでは、LHM以外のオイルは絶対に使用しないこと。

（例えばDモデル用はLHSを使用している。）

注意：ジーゼルのノズルテスターをテストベンチとして使用することもできる。

この場合、使用前に完全に洗浄し、軽油が混入しないようにする。

8. 取付け作業中の注意：

a) 洗 浄

ースチールパイプは、圧縮空気を通す。

ーゴム管及びスリーブシールは、ガソリン又はアルコールで洗浄し、圧縮空気ですべて乾燥する。

ーハイドロリック部品も同様に、ガソリン又はアルコールで洗浄し、圧縮空気を通す。

注意：ガスケットやシール類は必ず新品を使用する。

b) 潤 滑

ーマニュアルを良く読んで、その指示に従う。

ースリーブシールと内部の部品には、取付け前にLHM液で潤滑しておく。

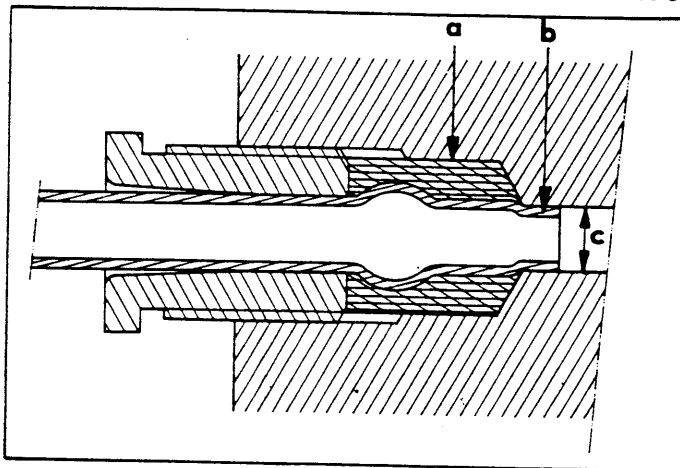
ーハイドロリック部品に他の部品が接触していて、グリスを使用する場合は、必ず鉱物性グリスを使用する。

（例えば、サスペンションシリンダーのコンロッドや、ボールジョイント等）

c) 取付け

— 鉱物性の液 LHM に合った品質のスリーブシールのみ使用する。

— ユニオンの取付けは次のように行なう：



— LHM を薄く塗ったスリーブシール a をパイプに取付ける。この時スチールパイプの先端 b は、必ず少し出るようにする。

— パイプをハウジングの孔に対して一直線になるようにして、無理な力がかからないように差し込む。差し込んだらパイプの先端 b が、ハウジングの奥の小さい径の孔に入っていることを確認する。

— まず手でユニオンナットを締める。

— 適度な力でナットを締付ける。

締めすぎるとパイプを変形させ、油もれの原因になる。

注意：締付けトルク：

3.5 mm φ パイプ	} 0.8 ~ 0.9 kg-m
4.5 mm φ パイプ	
6.0 mm φ パイプ	0.9 ~ 1.1 kg-m

いろいろな形、サイズのスリーブシールがあり、必ずそのパイプに合ったものを使用する。

このスリーブシールはハイドロリックの油圧によって気密作用が増加する。

ユニオンナットを規定以上に締めても、この気密作用は強くない。

ゴム管を接続する場合は、ゴム管の上にピッタリ合ったラバーリングをかぶせて、その上からホースバンドを取付ける。

9. 作業完了時の点検

作業が完了した時には次の個所を点検する。

a) 接続部、ユニオンナット部の洩れの有無

b) パイプ類と他の部分との間隔が適切であるか

パイプ類は、パイプどうし、又は他の部分と接触してはならない。

キチンと固定されているか、余裕はあるか、無理な力がかかっていないか。

II プラスチックチューブの修理

注 意 :

- a) プラスチックチューブが損傷した場合は、そのチューブの上にスリーブをかぶせて修理することができる。
- b) 1本のチューブ上に2個のスリーブを使用する場合は、チューブの柔軟性を保つためにスリーブとスリーブの間隔を約750 mm (30インチ) あける。
- c) 接着剤は、RILSAN接着剤を使用する。(125 cc 入り)
発売元 : BOYRIVEN 社 37 bis Rue de Villiers -
92 Neuilly - sur - Seine
(この接着剤は、皮ふに害があるので、木のへらを使用すること。)

- 1. プラスチックチューブを切断し、先端から約100 mmをサンドペーパー600番で研磨する。
- 2. 研磨した部分と修理用のチューブをトリクロエチレンを使って油脂分を落す。
- 3. 接着剤RILSANを60℃のお湯で温める。(60℃以上にしないこと。)

注意 : この作業は乾燥時間を短縮するのに必要。

- 4. プラスチックチューブの内側に接着剤を塗布する。

2 ~ 3 分間乾燥させる。

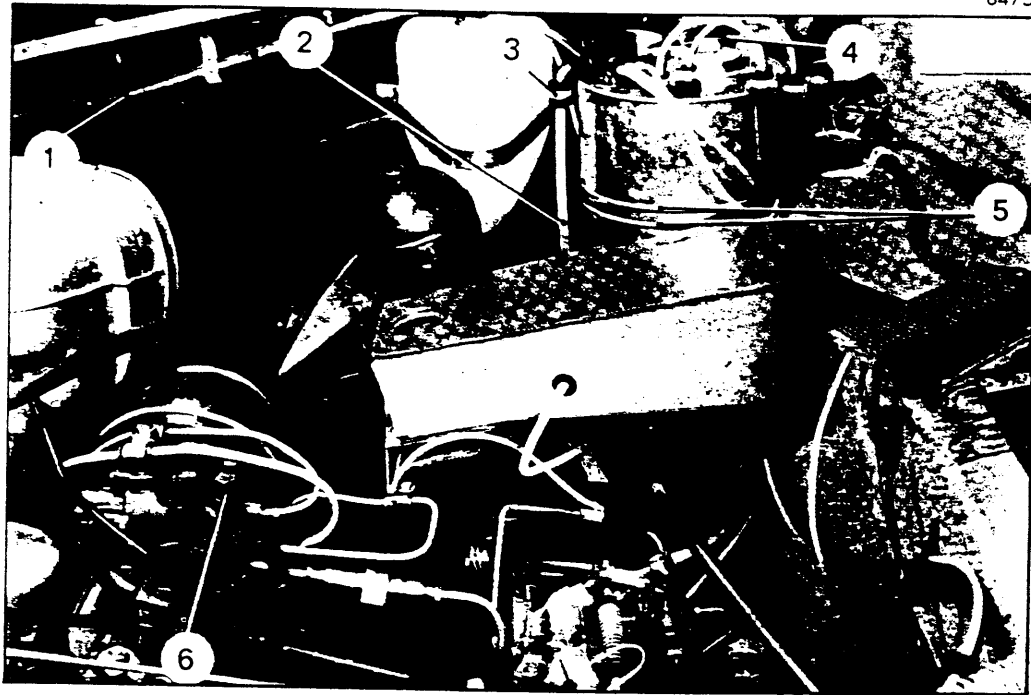
チューブ先端をスリーブに挿入する。

3 ~ 4 時乾燥させてから取付ける。

Ⅲ－ハイドロリックシステム内のLHM液交換

(1974年9月1日以前に生産された車)

8475



抜 取 り

- a) 手動車高調整レバーをノーマル（走行）の位置にする。
- b) プレッシャーレギュレーターのリリーススクリー(6)をゆるめる。
- c) 手動車高調整レバーをハイ（高）の位置にする。

リザーバータンクのLHMを次のようにして抜く。

－クリップ(3)をゆるめる。

－ナイロンチューブ(2)を外して別のホースにつなぐ。

－フィルター(4)のクリップを外す。

－リザーバータンクのオイルを抜く。

－フィルターを外し、ハイプレッシャーポンプサククションホース(1)からLHMを抜く。

－フィルターをガソリンで洗浄し、圧縮空気乾燥させる。

注 入

－リザーバータンクにLHM液（緑色）を入れる。

－ハイプレッシャーポンプに呼び水用のLHMを注入する：

サククションホース(1)からハイポンプへLHMを注入する。

－エンジンを始動する。

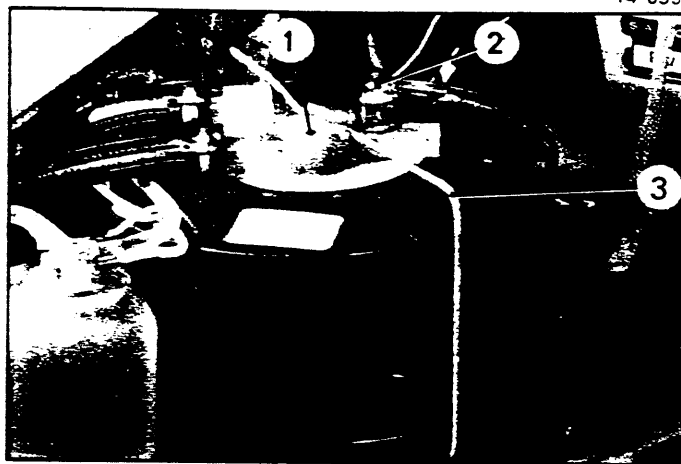
－プレッシャーレギュレーターのリリーススクリー(6)を締める。

－車高をハイ（高）の位置にしておいて、リザーバータンクにLHMを規定まで入れる。

－リザーバーのLHMの規定量は車高がハイ（高）の位置で2本のリング(5)の間にあること。

IV-ハイドロリックシステム内のLHM液交換

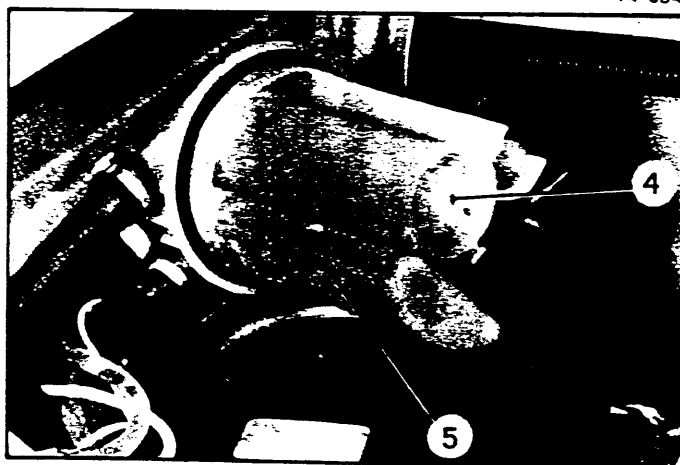
(1974年9月1日以降に生産された車)



14 033

抜取り

- a) 手動車高調整レバーをノーマル（走行）の位置にする。
- b) プレッシャーレギュレーターのリリースクリューをゆるめる。
- c) 手動車高調整レバーをハイ（高）の位置にする。
- d) リザーバタンクのスプリングリテーナー(3)を外す。
- e) 中央のユニット(1)を外す。
- f) 中央のユニットから
 - ーリターンフィルター(5)
 - ーサクショフィルター(4)を外す。
- g) リザーバタンクを外してオイルを抜き、内部のディフレクターを外す。
- h) フィルター(4)(5), リザーバタンク, 及びディフレクターをガソリンで洗浄し、圧縮空気で乾かす。
- i) 再び各部品を組立てる。



14 034

注 入

- a) リザーバタンクにLHM液を約 2.5 ℓ 入れる。
- b) ハイプレッシャーポンプの呼び水：
 - ーサクションホースからLHMを流してこんでポンプに送る。
 - ーエンジンを始動し、手動車高調整レバーはハイ（高）位置にする。
 - ープレッシャーレギュレーターのリリーススクリーを締める。
 - ー車が、ハイの位置で安定したら、リザーバタンクにLHM液を補充する。
 - ーLHM液のレベルは、車高がハイ（高）の位置で、可動式の金属板のレベルインジケーター(2)が2本の赤線の間にすること。